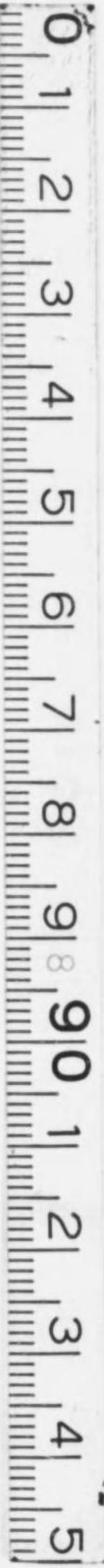


特 246

407

帝國水難救濟會
千葉支部
總會紀念誌



始



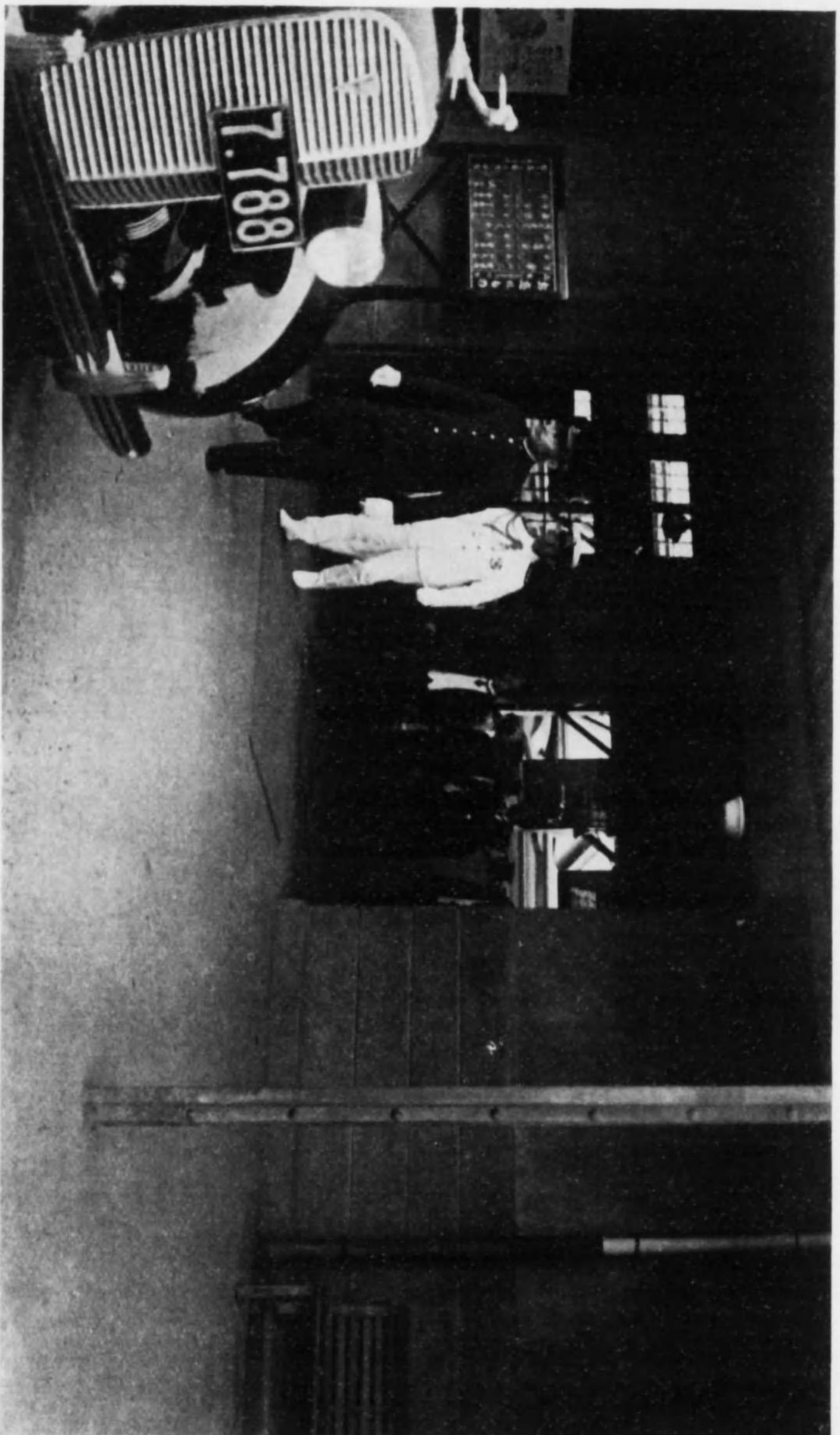
特246
407



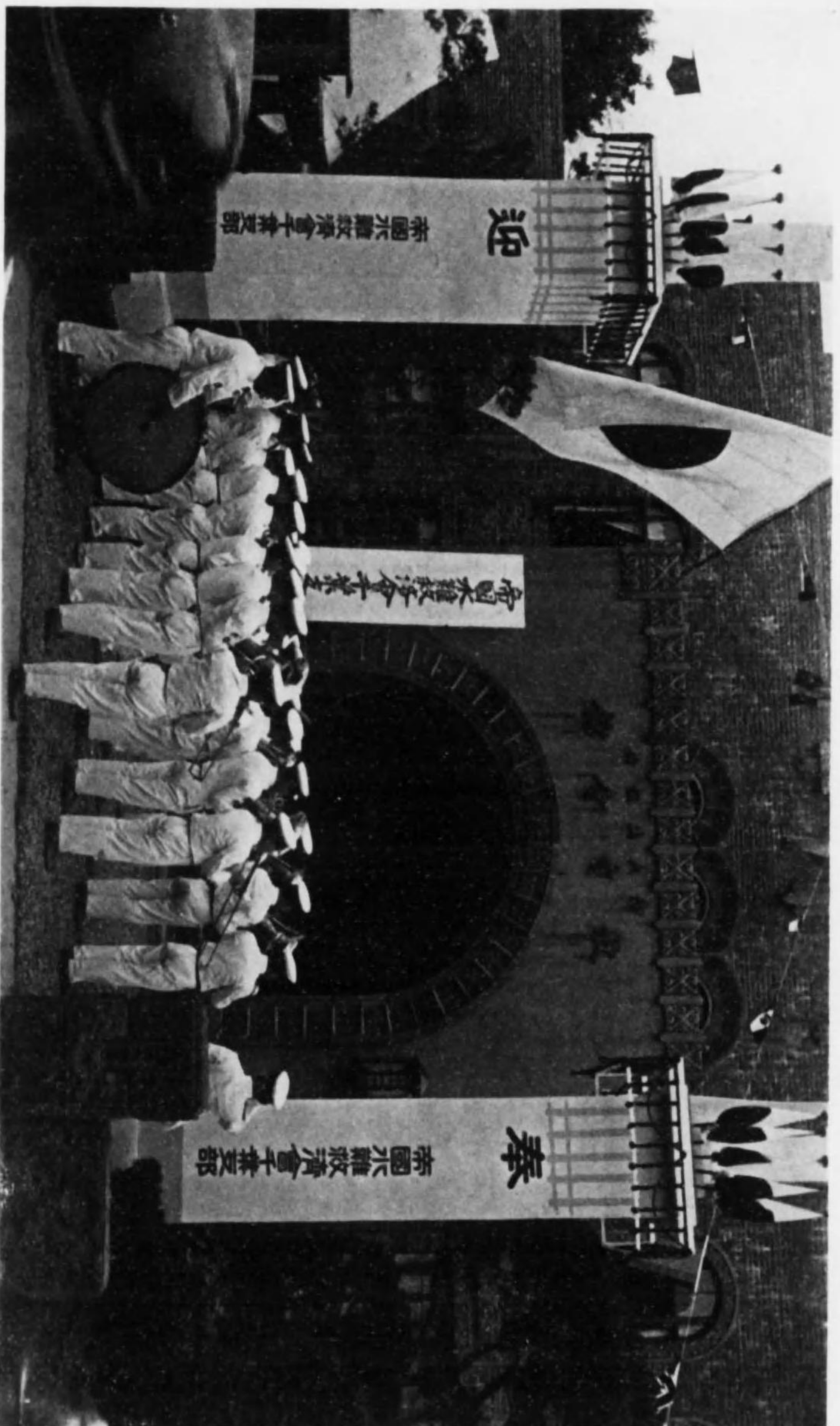
帝國水難救濟會
千葉支部

總會紀念誌

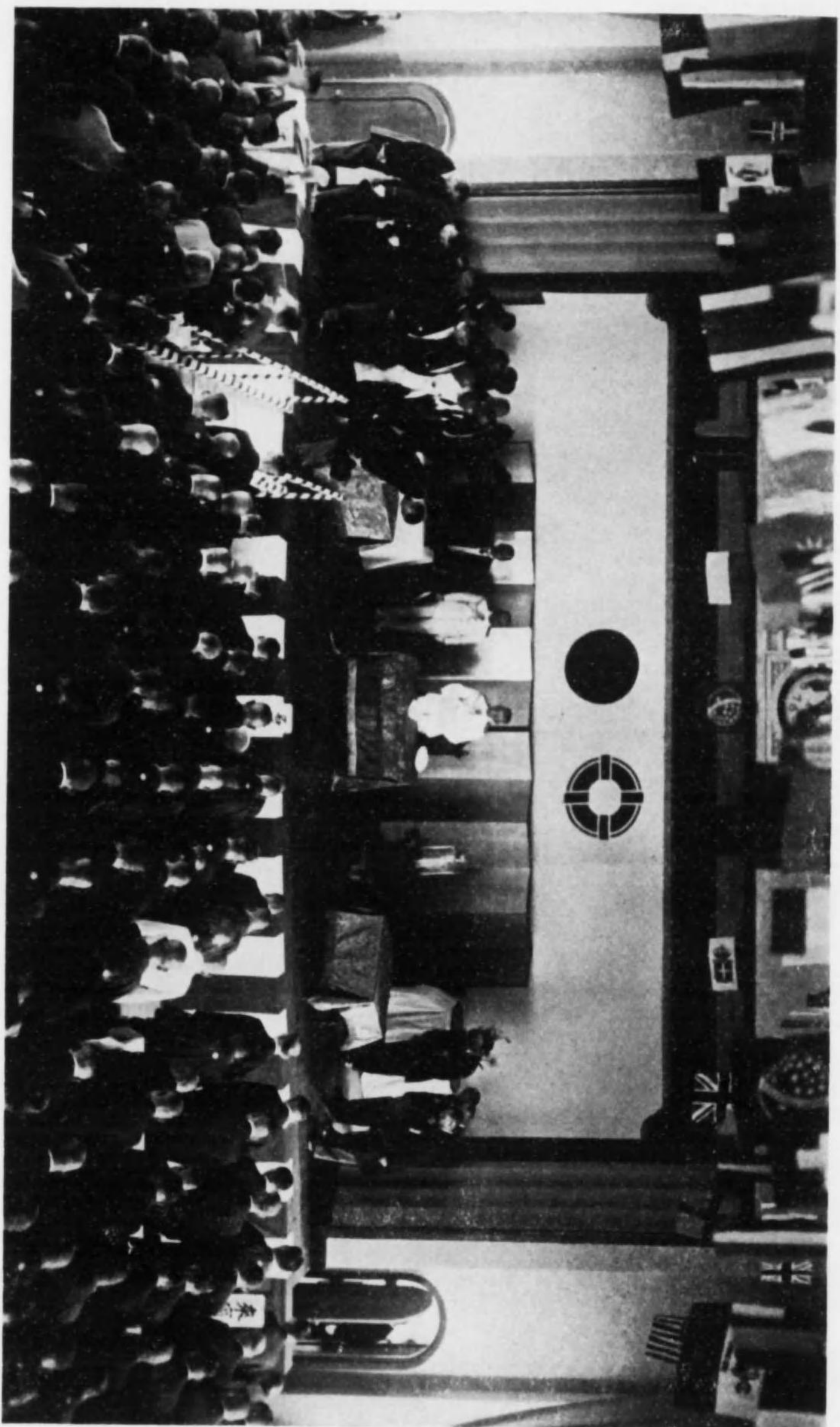




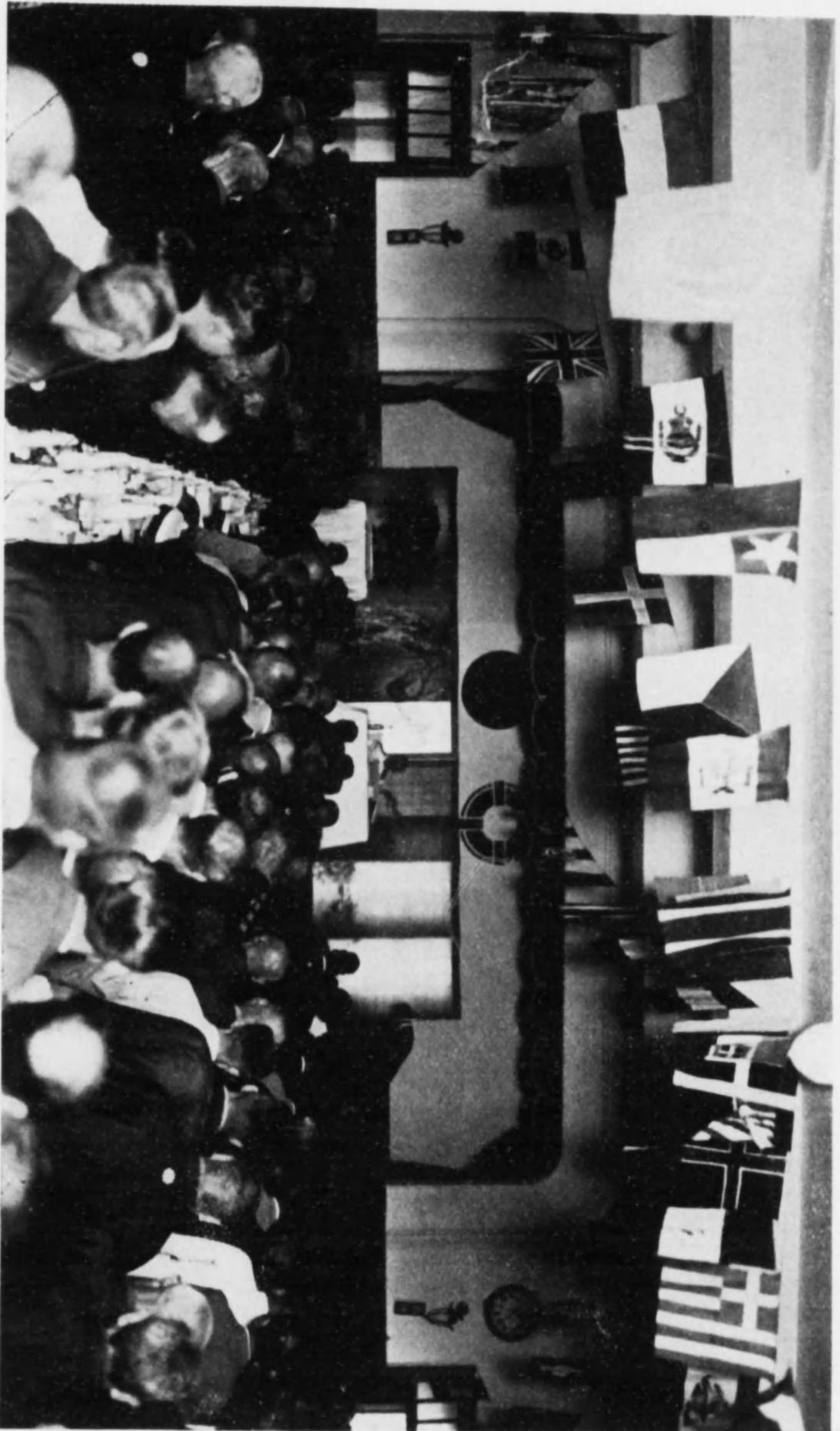
ルカハ遊成御へ市葉千下殿宮裁總



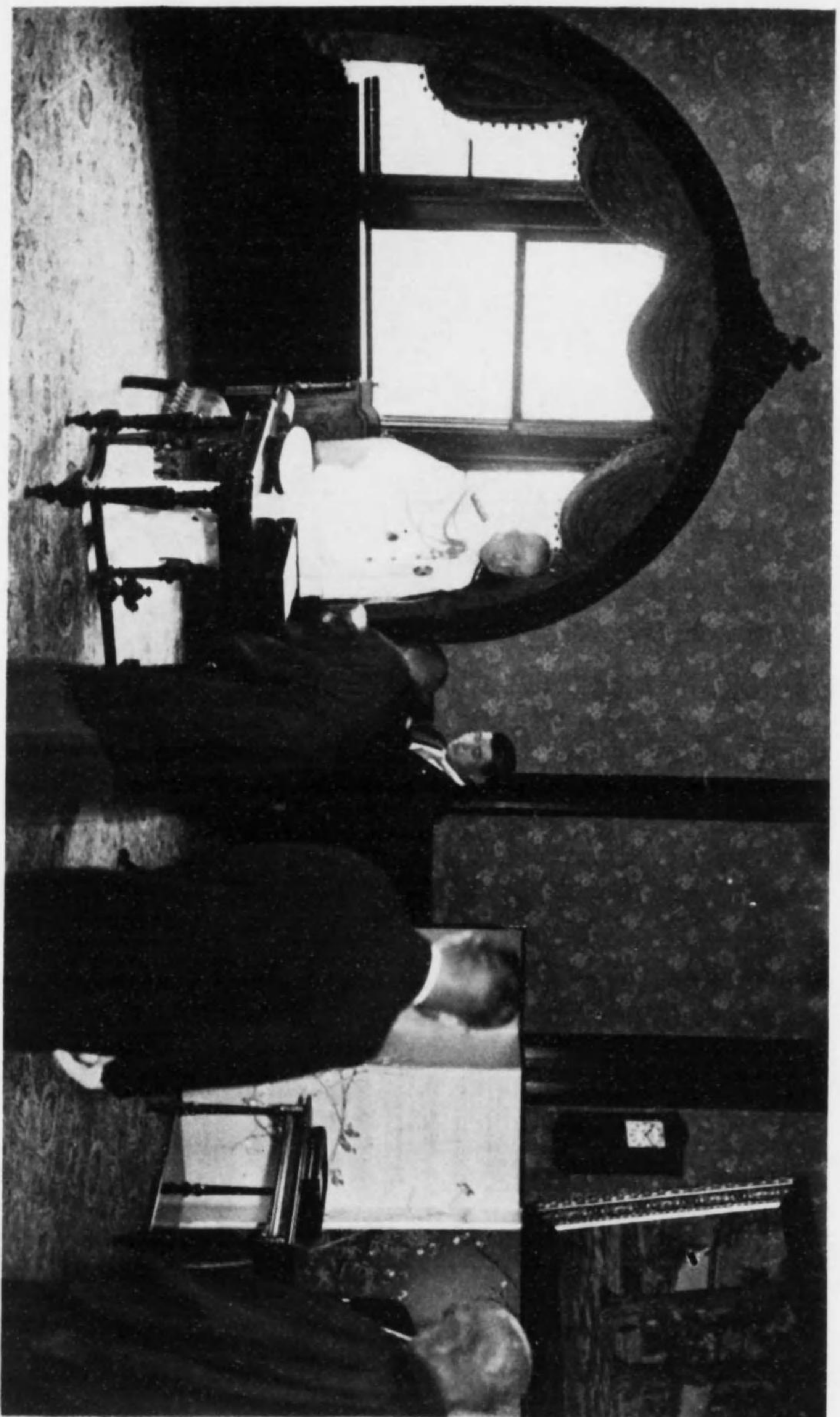
總會(教育會)御着



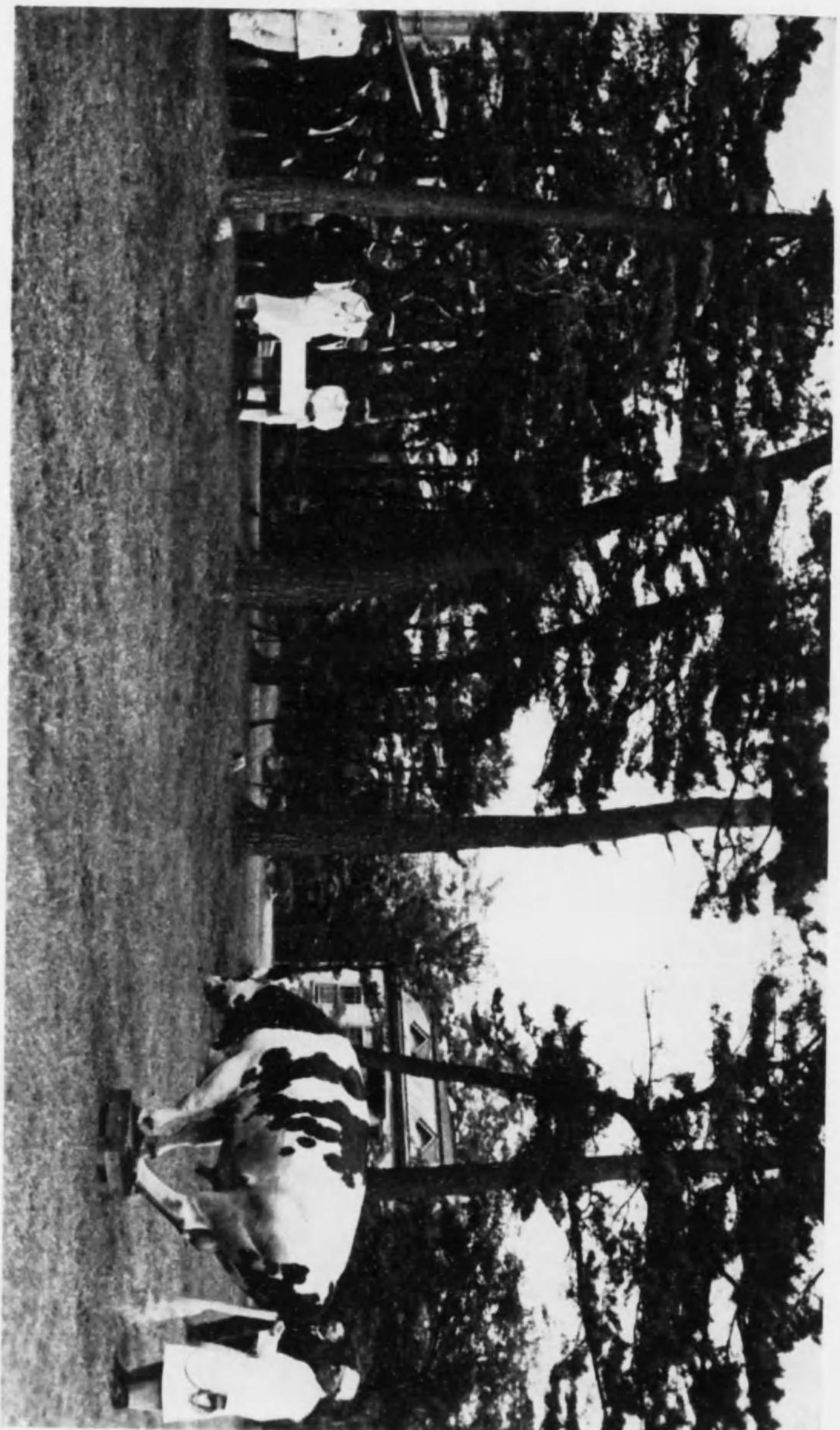
總裁宮下合ヲ賜ハル



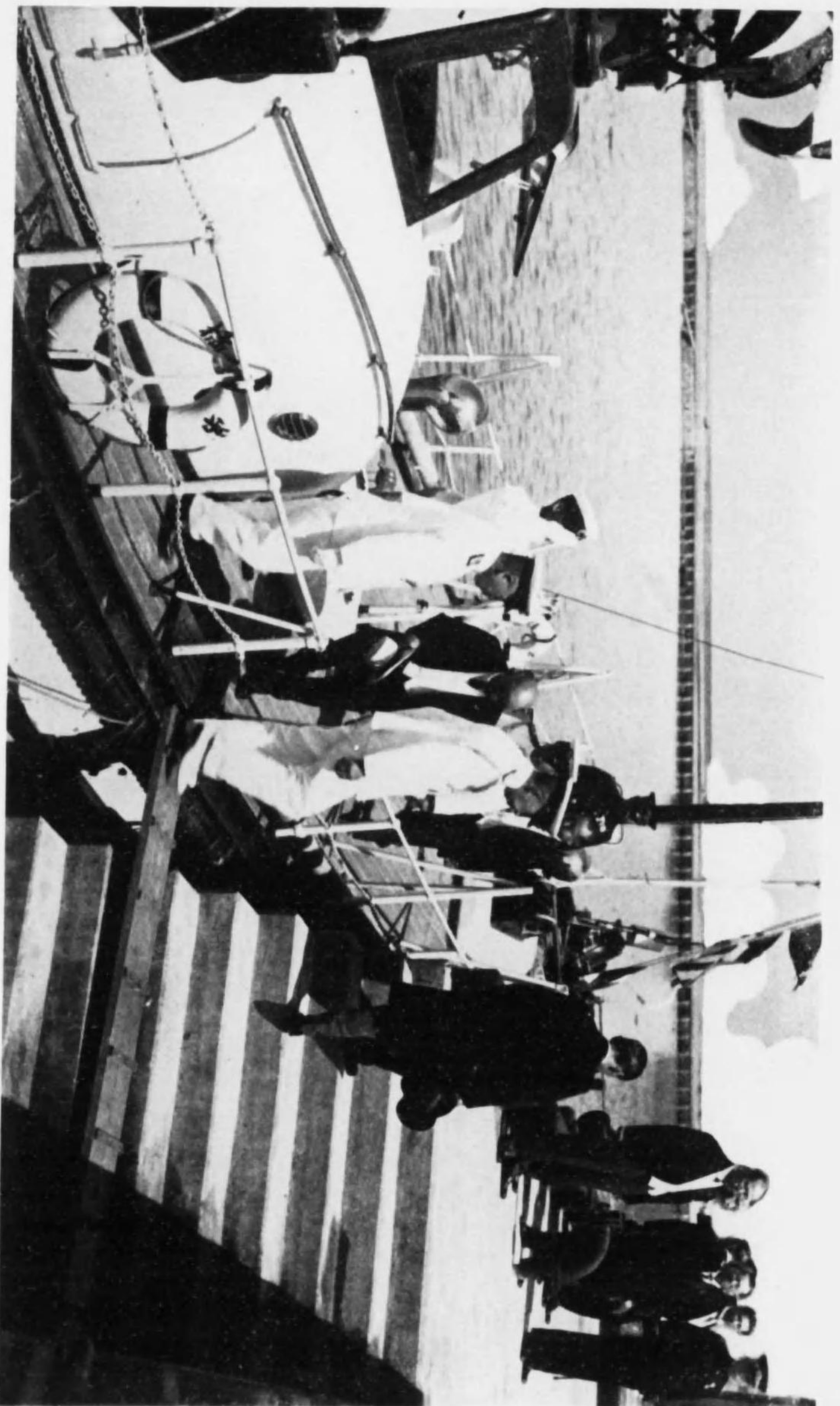
第二晚宴會場



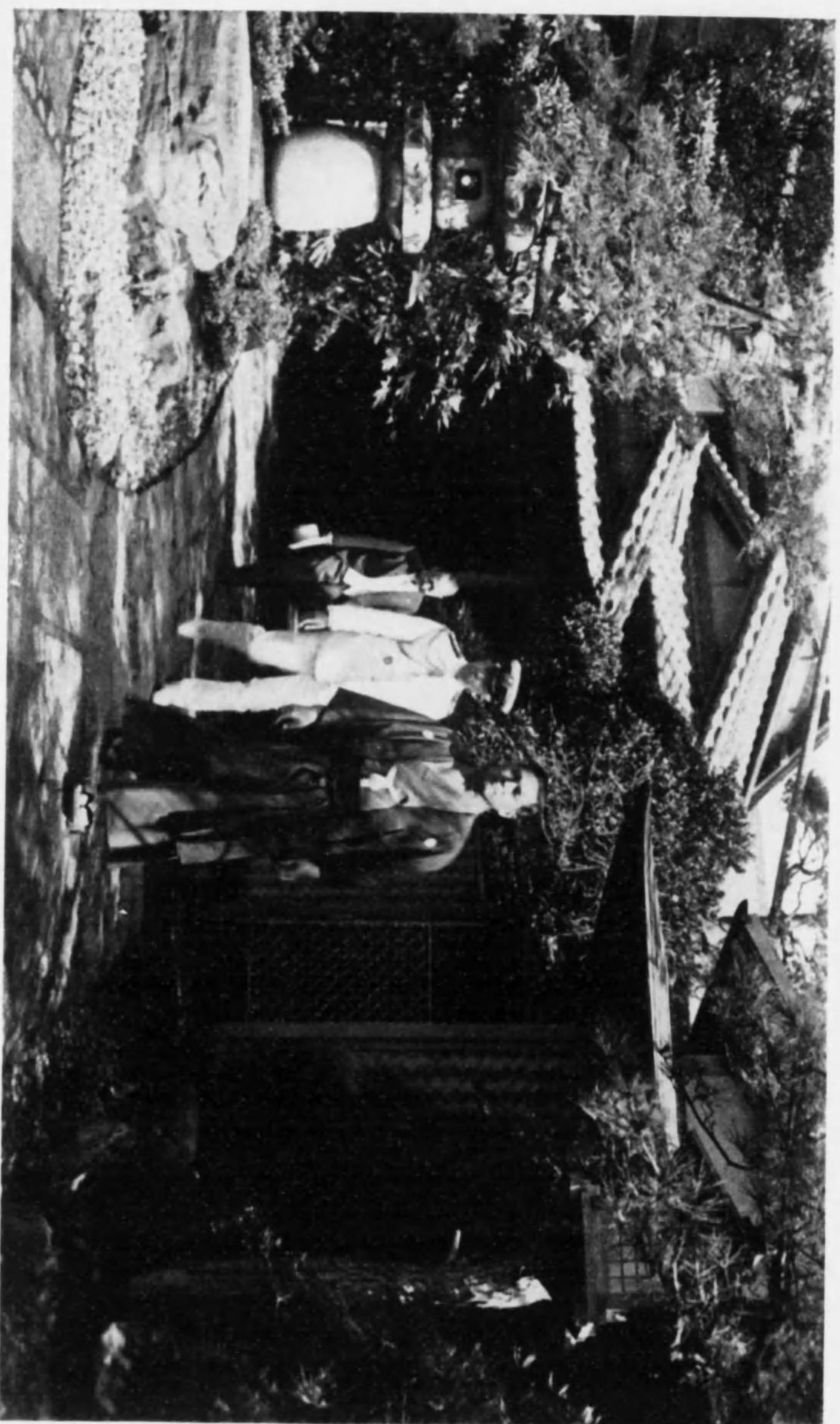
式 授 親 御



下段宮殿總ルサハ遊覽台御ヲ乗替ホノ牛

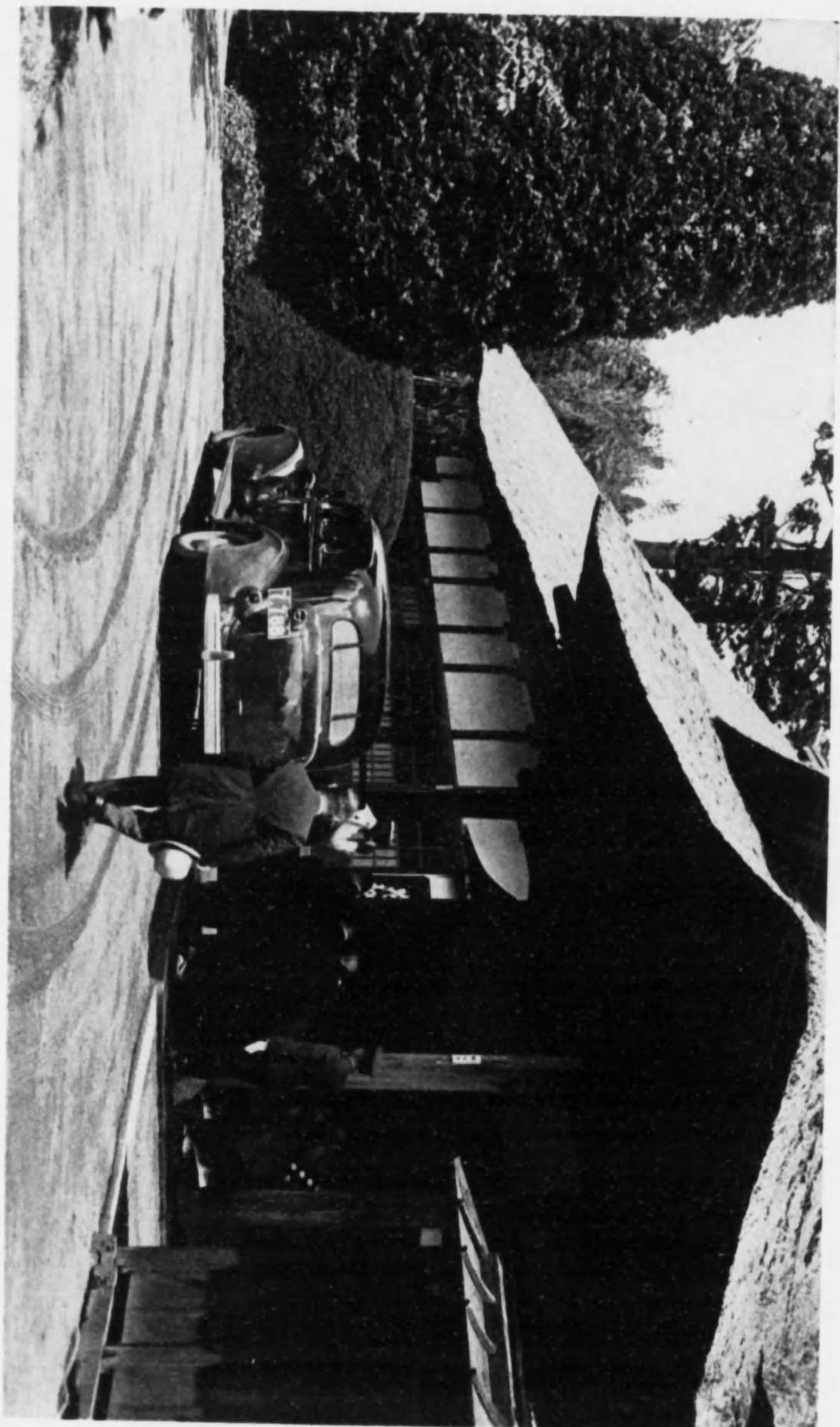


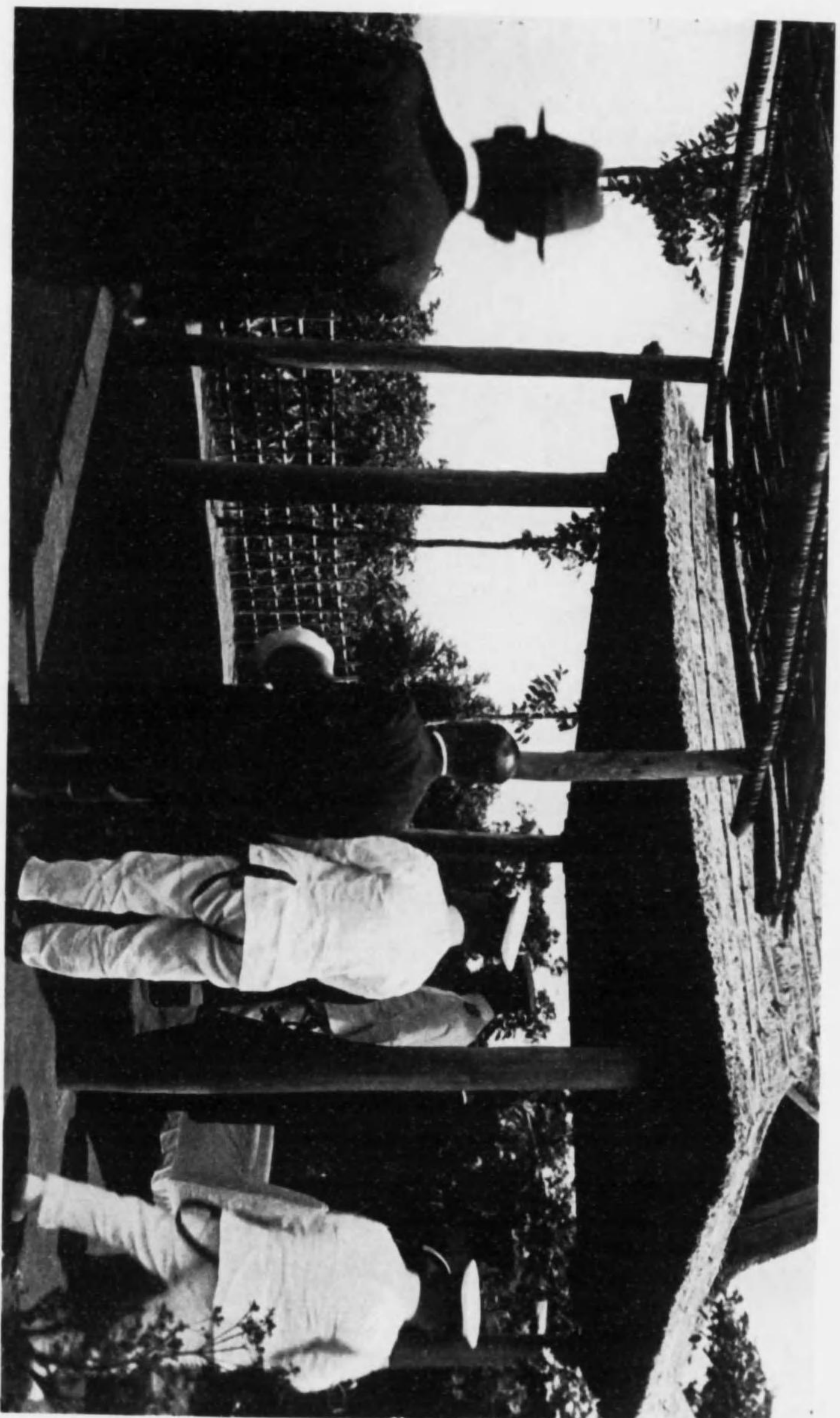
救命艇第一橋



發出御館族間久佐町津更木

鹿野山御到着





下殿宮裁總 ルラセカ於ニ近附臺望展御山野麓

目次

口繪	一〇葉
第一 準備	一
一、縣廳	一
二、總會場及祝賀會場	二
三、御道筋	二
四、御旅館	三
五、御賜餐場及御茶葉場	四
六、御視察箇所(工業試驗場、畜産試驗場、鹿野山)	四
七、給仕人	五
八、水難救助機艇弟橋	六
九、係員宿舍	七
十、衛生並ニ救護	八
十一、郵便局臨時出張所設置並ニ鐵道割引乘車證	一〇
第二 御日程	一〇
第三 御來着	三

二

第四	單獨賜謁	三
第五	御親授式	五
第六	總會	八
第七	工業試驗場御視察	六
第八	祝賀會	六
第九	御晝餐	六
第十	畜産試驗場御視察	六
第十一	木更津町御成	九
第十二	御賜餐	九
第十三	木更津航空隊御視察	三
第十四	鹿野山、神野寺御成	三
第十五	御歸京	三
第十六	御下賜品並ニ御下賜金	四
第十七	獻上品	四
第十八	御行列	六
第十九	縣民ノ奉祝	四

第二十	知事御禮言上	四
第二十一	慰勞會	四
第二十二	帝國水難救濟會千葉支部總會處務規程	四
第二十三	餘錄	七
一、日	譜	七
二、寄贈其ノ他借用シタル屏風、盆栽其他ノ調度品並ニ調達先		九
三、獻上品解説書		五〇

第一準備

一、縣 廳

殿下御休憩室及賜調室ハ貴賓室ヲ充テ暖爐前面ニ御座所ヲ設ケ敷物及窓掛緞帳レースヲ新調シ金箔置直シヲナスト共ニ備付家具全部ノ塗替修理ヲナシ切地亦在來通り新規ニ張替ヘ御入口側ニ金屏風ヲ置キ御座所前面ニ松ノ盆栽ヲ調ヘタリ。

御親授式場及御晝餐室ハ知事室ヲ充テ御座所ヲ東側窓前面ニ設ケ窓掛緞帳レースヲ新調シ衝立ノ塗替及帳替等ヲナス。

供奉員控室ハ官房應接室ヲ充テ敷物ハ舊知事室ノモノヲ敷替ヘ窓掛及レースハ舊貴賓室ノモノヲ使用シ木部ペンキノ塗替ヲナス。

獻上品陳列所ハ官房ヲ之ニ充テ壁天井共水性ペンキ塗替ヘ周圍書棚等ハ紅白ノ幔幕ヲ張りテ之レヲ隱蔽ス陳列臺ハ机ニ白布ヲ蔽ヒ使用ス給仕室ハ調理事務室ニ充テ机ニ白布ヲ蔽ヒ配膳臺トス木部ペンキ壁天井水性ペンキハ塗替ヲナス。

總務部長、經濟部長兩室ハ御親授省控室及食後休憩室ニ充テ窓レースヲ洗濯使用シ壁紙張替ヘ及天井水性ペンキノ塗替ヲナス。

正殿ハ使用セザルモ當日開放スル爲奉安所尖端飾リヲ修理シ金箔付ヲナシ窓レースヲ新調セリ正面玄關ハ扉ノ金文字箔付替ヲナシ入口廻リノペンキ塗替ヲナス。

廣間及正面階段ハ壁、天井水性ペンキノ塗替電燈器具ノ金ニス塗替及階段腰廻リ及段板ハワニスノ塗替ヘヲナシ正殿前廣間天窓ステインドグラスノ掃除ヲナス。

二

二、總會場及祝賀會場

教育會館講堂ヲ總會場並ニ第一祝賀會場トシ正面ステイジニ御座所ヲ設ケ後方上部ニ國旗及會旗ヲ掲揚シ背面ハ金屏風ヲ巡ラシ左右ニ盆栽並ニ生花ヲ配ス又式場天井ニハ萬國旗ヲステイジ前面ニハ紅白ノ幔幕ヲ張ル祝宴用ノ卓ハ在來固定ノ机ニ厚板ヲ渡シ之ニ白布ヲ掛ケ列立式トス尙會場入口正面ニ奉迎用裝飾塔一對ヲ設ケ玄關廣間東側階段ヲ御通路用ニ供シ玄關ヨリ貴賓室及貴賓室ヨリ御座所ニ至ル御通路ヲ白布敷キトシ式場御通路兩側ニ手摺用紅白布ヲ卷キ掛ケ渡ス又一般參列者ハ廣間西側階段ヲ使用シ式場東側ニ入場スルモノハ西側階段ヨリ三階ヲ經テ東側階段ヲ下リ式場東側入口ヨリ入場セシム日本赤十字社千葉支部講堂ヲ第二祝賀會場トシ式場入口正面ニ奉迎用裝飾塔一對ヲ設ケ玄關正面階段ヨリ式場正面ステイジ迄白布ヲ敷キ御通路トシ階段手摺ハ紅白ニテ卷キ式場御通路兩側ニ紅白布ニテ手摺ヲ設ケ演壇上御座所後方上部ニ國旗及會旗掲揚其ノ他ハ總會場ニ準ズ。

一般入場者ハ裏側階段ヨリ昇降セシム。

三、御道筋

御道筋道路ノ整備ニ付キテハ曲及見透惡シキ部分七箇所ヲ改修、地元ト協力ノ上見透シテ遮ル物件ヲ除去シ御成當日最良ノ状態ヲラシムヘキ砂利碎石ノ敷込ヲナシタリ、貨物自動車六輛洗滌車二輛ヲ動員シ六月二十三日夜ヨリ夜間ヲ利用徹宵鋪裝道路ノ洗滌砂利道ノ撒水ニ努ムルト共ニ當日路面汚物ノ除去ヲ勵行シタリ更ニ屈曲踏切等危険防止ノ爲道

路標識四十七本柵三ヶ所ヲ設置ス千葉市及木更津町消防組員ハ全部火災警防ニ従事シタル外沿道、地元、町村消防組員出勤警備並ニ撒水用水ノ補給ニ當リタリ。

四、御旅館

御旅館ハ木更津町佐久間旅館ヲ充テサセラレ御寢室、御居室及御休憩室ノ各室共西側ニ面シ東京灣ノ風光ヲ一眸ノ下ニ收メ得テ眺望絶佳ナリ。

御寢室御居室及御休憩室ノ疊ハ全部表替ヲナシ障子ハ各室共上等ノ美濃紙ヲ以テ張替ス。

西側ノ廊下ニハ夕陽ヲ防グ爲全部簾ヲ設備ス。

御寢室ハ四疊附、室八疊ニシテ床近ク電氣スタンドヲ置キ東及西側ノ窓障子ニハ黒幕ヲ張り御安眠遊バサル、様設備セリ。

御居室ハ十疊ニシテ中央ニ卓及座布團ヲ置キ卓上ニハ煙草セツトヲ準備セリ。

御休憩室モ十疊ニシテ中央ニハ絨氈ヲ敷キ 殿下御休憩用トシテ「テーブル」及椅子ヲ設備セル外尙ニユース御聽取ノ爲「ラヂオ」ヲ設備シ葦盤ヲモ準備シ置ケリ。

各室ノ床ニハ山水或ハ人物ノ軸物ヲ掛ケ生花ヲ置キタリ。

御使用品室ハ十疊ニシテ御休憩室ニ隣接シ 殿下御使用品ヲ入レタル「トランク」三個ヲ置キ 殿下御自ラ御處理遊バサル、様セリ。

其他電燈、電話、電鈴ノ設備ニ改善ヲ加ヘ萬遺漏ナキヲ期セリ。

五、御賜齋場及御茶菓場

御賜齋ヲ木更津町佐久間旅館階下洋室廣間ニ之ヲ設ク、天井ニハ萬國旗ヲ飾リ西方上座中央ニ 殿下ノ御座席ヲ設ケ奉リ背後ニ金屏風一双ヲ備ヘ盆栽ヲ置キテ華麗ノ中ニモ莊重ナリ。

御賜茶ハ二階八十疊ノ日本間ニ於テ行ハセラル、コト、シ 殿下ノ御座席ヲ東端二間床前ニ設ケ奉リ卓子下ニ絨氈ヲ敷キ參ラセ床間ニハ山本警察部長所藏ニ係ル探幽齋筆雪景山水ノ大横披ヲ飾レリ。

四

六、御視察箇所

(一) 工業試驗場

二階各室ニ陳列臺ヲ設ケ農産品、畜産品水産品其ノ他本縣物産ヲ陳列シ第一室西南隅ニハあやめニ水蓮ヲ盛りタル大水盤ヲ設ヘ内ニ金魚ヲ放チ風趣ヲ添ヘ又台電作業場ヲ設ケテ伊勢源商店ノ店員ヲシテ羽子板製作ノ實況ヲ台覽ニ供スルコト、セリ。

殿下ノ御休憩ノ爲ニハ二階修養室ヲ充テ疊ノ上ニ天竺木綿ヲ敷込ミ中央ニ卓子、椅子ヲ置キ金屏風一双ヲ備ヘ掛軸、盆栽ヲ加ヘテ裝飾セリ。

(二) 畜産試驗場

伏見總裁宮殿下御成ノ光榮ニ浴シタル畜産試驗場ニ於テハ廳舍階上ノ貴賓室ヲ御座所トシ玄關ヨリ階段ヲ經貴賓室マデ絨氈ヲ敷キ手摺ハ紅白布ヲ以テ巻キ込ミ御通路ハ勿論廳舍各部屋トモ清拭シ置キタリ貴賓室御座所左右ニ生花盆栽ヲ調ヘタリ。

二階標本陳列室ハ陳列臺ヲ清淨ナル白布ヲ以テ掩ヒ其ノ上ニ場製品バタ、ハム各種罐詰、毛皮類及ビ鶏ノ雌雄鑑別圖ヲ陳列シ壁ニハ各種飼料比較表ヲ掲ゲ置キタリ。

廳舍屋上御展望臺ニハ卓子及椅子ヲ備ヘ白布ヲ以テ掩ヒ卓子上ニハ畜産試驗場模型ヲ備ヘ置キタリ。

現業部ニ於テハ製肉、製乳各室ハ各々整頓消毒シ御通路ハ土、砂利ヲ以テナラシ當日ハ御成直前マデ撒水シ塵埃ノ飛散ヲ防ギタリ。

(三) 鹿野山

(1) 御休息所

御休息所ハ神野寺庭園ニ面セル奥十二疊間前ノ疊廊下ニ設ケ玄關ヨリ廊下ニハ白布ヲ敷キ御座所ノ卓子ハテーブル掛ヲ用ヒ椅子ハ白布ニテ覆ヒ臨ニ臯月ノ盆栽ヲ飾ル背後ニハ三代將軍家光公御寄進ニ依ル屏風一双ヲ置キ左ニハ雲慶作ノ面及 久邇宮邦彦王殿下御親筆ニ依ル軸一幅ヲ掛ケ置ケリ。

(2) 御展望臺

大塚屋旅館臨御展望臺ハ東屋ヲ設備シアリ。

中央卓子ノ上ニ御展望臺ヲ中心トセル四圍ノ地圖ヲ備ヘ椅子ハ白布ニテ覆ヒヲナセリ。

大御展望臺ニハ國旗ヲ掲揚シ昇降路ニハ小砂ヲ敷キ清掃シ御展望臺ニ至ル階段手摺ニハ紅白ノ布ヲ捲キ中央卓子ハ白布ニテ覆ヒ御展望臺ヲ中心トセル四圍ノ地圖ヲ備ヘ置キタリ。

七、給仕人

御旅館ニ於ケル御給仕ハ同館主佐久間信妻はな及長女靜江之ヲ撰定シ右兩名ニ對シテハ豫テ禮儀作法ノ教養ニ努メタ

五

御賜餐場ニ於ケル御召料等ノ調理及給仕ハ宮内省大善寮ヨリ差廻シノ東洋軒奉仕給仕人十四人之ニ當レリ。

八、救助機艇

千葉縣ニハ銚子外二個所ノ救難所アレド何レモ救助機艇ノ設備ナク一度荒天ニ際會セムカ遺憾ノ點多キニ鑑ミ救助機艇ノ建造ヲ企畫シ五萬圓ノ豫定ヲ以テ寄附金又ハ會費醱集等ニ依リ必要經費ヲ得ムトシタリ。

昭和十年八月一日ヨリ同十月三十日迄募集ニ從事シタルニ豫定額ヨリ遙ニ超過シ應募人員二千九百十七名、應募額五萬六千三百五十九圓八十五錢ニ達シ豫期以上ノ成績ヲ擧ゲタリ。

此處ニ於テ株式會社橫濱ヨツト工作所ト救助機艇一隻ノ製造請負契約ヲ爲シタリ。

製造費三萬五千五百圓ニシテ其ノ機構左ノ如ク

全長	十五米
幅	三、八米
深	一、八九米
馬力	百六十馬力
噸數	十九噸
速力	九節
復原力	百三十五度

斯様ニ耐波性及復原性ヲ有シ救助機艇トシテノ目的ヲ充分達成シ得ル性能アル此ノ艇ハ昭和十一年五月二十三日進水

式ヲ舉行シタリ。

艇名ヲ「弟橋」ニ命名シ六月十四日横濱ヨリ千葉寒川港ニ廻航ス、當日各常議員、各係長、各地方委員長ニ觀覽ニ供ス。

六月二十四日總會終了後一般ニ公開シ此ノ參觀者壹千有餘名ナリ。

斯クテ午後三時三十分寒川港ヲ出發同五時三十分木更津航空隊埠頭ニ投錨シ榮ヘアル台覽ニ供スヘク準備ヲ完了ス。

九、係員宿舍

- 一、宿舍割當準備トシテ六月十三日木更津町旅館ノ設備並ニ收容人員等ヲ調査シ佐久間、玉屋、寶屋、ときわ園、伏見屋、石井樓ノ六旅館ヲ選定セリ。
 - 一、六月十五日ニ賜餐者ニ對シ當夜ノ泊否ヲ照會シ其ノ回答ヲ徵スルト共ニ本部關係者其ノ他縣係員ニ就キ同様問合セ六月二十日別紙ノ通決定夫々關係者ニ通知セリ。
 - 一、六月二十四日係員一同早朝木更津町ニ至リ各旅館ノ割當ヲ爲シ其ノ準備ヲ終了シ午後四時 殿下御宿舍佐久間旅館ニ於テ御着ヲ奉迎シタリ而シテ係員一同ハ同旅館宿泊者ノ斡旋並ニ接待ニ午後十二時迄從事シタリ。
 - 一、六月二十五日午前六時ヨリ佐久間旅館ニ至リ前日同様從事シ午後一時二十分 殿下御歸還ヲ奉送ノ上歸廳セリ。
- 六月廿四日木更津町宿泊者豫定人員

賜餐	人員	摘	要	宿	舍
二	吉野縣會議長、森藤組				

本部關係者	九	多田選信參事、松平副會長、島集理事、木下理事、澤監事、石博本部庶務課長、鳥野本部救護課長、小川本部員、小野本部會計課長	
知事	一		
警務、警備、警備部長	四	後藤庶務課長、井手警務課長、齋藤保安課長、玉木衛生課長	佐久間旅館 電話三三二番 (三四人)
警備衛生係、儀式係	六	小谷、林、木富、渡邊、鈴木各屬、平山勤	
賜餐者	八	小澤、川崎、齋藤、古谷技師、水島技師、三橋警部、齋木警部補、佐久間、柏谷警部	
庶務係	五	今井貞雄、久保谷龜太郎、佐野幸太郎、飯田悦三、富田三之助	玉屋 電話一九番 (二三人)
庶務係	六	高橋福三、朝澤正雄、保母誠一、成瀬清男、外救命艇員二名	
奉送迎係	二	郡山健康保險課長、齋藤屬	寶屋(電話一〇六番) (七人)
宿舎係	七	郡野學務課長、河野視學官、山下視學、八田視學、江波戸屬、高木主事、鳩川屬	
御視察係	三	岡長彦課長、栗津技師、筒井技師	とさわ園 電話一七五番 (二二人)
工營式場係	四	宮崎土木課長、川又主事、今泉技師、杉原工師	
接待係	四	近藤社會教育會長、大沼警部補、大多和芳藏、戸田嘉福	伏見 電話二〇番 (四人)
自動車運轉手	一三		石井 (電話一八番)
計	八三		

十、衛生並ニ救護

縣廳内貴賓室、知事室並隨員休憩室、工業試驗場等ハ六月二十三日消毒ヲ施行シ御祝宴場タル教育會館、日本赤十字社千葉支部ニ於ケル御座席、御休憩室其ノ他ハ六月二十三日及二十四日ノ兩日ニ亙リ消毒ヲ施行セリ。

御祝宴用及御立寄所ニ於テ御使用ノ茶器盃等ハ六月二十三日煮沸消毒ヲ施行シ御祝宴用品調理場タル千葉市寒川下宿魚政方ニ對シテハ六月十二日及十七日ノ二回ニ亙リ糞便ヲ採取シ細菌學的検査ヲ爲シ六月二十一日健康診斷ヲ施行シタルニ不健康者ナク調理場ハ六月二十三日視察シ調理器具其ノ他ノ検査ヲ施行セリ。

一般祝宴用品ノ調理場タル千葉市万葉軒ニ對シテモ右ニ準ジ夫々検査ヲ施行セリ。

御給仕人東京市麴町區有樂町一ノ一三信ビル内東洋軒ノ従業員ニ對シテハ六月十九日警視廳衛生部長ニ健康診斷並ニ糞便検査施行方依頼セルニ六月二十三日奉仕給仕人並其ノ豫備員等三十一名中不健康者ナキ旨回答ニ接セリ。

御旅館タル木更津町佐久間旅館従事者ニ對シテハ六月十日、十五日ノ二回糞便ヲ採取シ細菌學的検査ヲ爲シ六月廿二日健康診斷ヲ施行シタルニ女中三名トラホームニ罹患シ居リタルヲ以テ從業セザル様諭示シタル外不健康者ナシ調理場ハ衛生技手ヲ派遣シ其ノ狀況ノ監視ニ努メ御用水ハ水質検査ノ結果水道水ヲ水質良好ト認メ井水ヲ使用セザル様諭示ス。旅館各室ハ全部清掃シ消毒ヲ施行シ御居間御寢室ハ疊替ヲ爲ス。

碁石、碁盤、屏風等ノ御用度品ハ全部消毒シ台覽新聞紙ハ火熨ヲ以テ消毒シタル上差上グ。

御視察場タル鹿野山、神野寺ニ對シテハ住職以下寺院關係者全部ニ糞便採取ノ上細菌學的検査並ニ健康診斷ヲ施行シタルニ不健康者ナシ神野寺使用ノ井水ハ水質検査ヲナスニ水質良好ナリ御休憩所其ノ他ハ六月二十四日及二十五日ノ二回消毒シ御茶器等ノ御用度品ハ煮沸消毒ヲ施行セリ。

御召自動車及隨員乗用自動車ハ六月二十三日消毒シ運轉手豫備員ニ對シテハ六月二十三日健康診斷ヲ施行シタルニ不健康者ナシ。

一〇
獻上品製造者家族並ニ從業員ニ對シテハ糞便ヲ採取シ細菌學的検査ヲナシ健康診斷ヲ施行セリ。
總會並ニ御祝宴會場ニ於ケル病者救済ノ爲教育會館内ニ救護班係ヲ設置シタリ當日幸ニモ病者ナシ。

十一、郵便局臨時出張所設置並鐵道割引乘車證

五月二十六日千葉支部ヨリ千葉郵便局長ニ交渉當日會場内ニ郵便局臨時出張所ヲ設ケ祝賀ニ因メル圖案文字入通信日
附印ヲ押捺方取計ヲナシタリ。

五月二十八日石原支部長ヨリ各地方委員長ニ對シ鐵道割引乘車證交付方依頼ス

第二 總裁 宮殿下御日程

六月二十四日 兩國驛御發 午前八時五十八分

千葉驛御着 午前九時四十三分

縣廳御着 午前九時五十五分

(貴賓室ニ於テ御休憩)

1. 賜謁者 (貴賓室)
支部長、支部副長、會長、副會長、評議員、常議員、其ノ他有資格者
2. 御親授式 (自午前十時三十分至同十時三十五分) 御親授式場 (知事室)
侍立者

會長、副會長、理事、評議員、幹事、支部長、支部副長、主事

3. 總會 (自午前十時三十分至同十一時三十分)
總會場 教育會館
(終ツテ貴賓室ニ於テ御休憩)

(終ツテ縣工業試驗室ニ御成縣物産御台覽)

4. 御祝宴 (自零時三十分至零時三十分)

第一會場 教育會館

第二會場 日赤支部

5. 御晝餐 (知事室)

6. 御視察

午後一時四十五分 縣廳玄関御發

午後一時五十分 畜産試驗場御着

(御休憩場内狀況御聴取五分間)

化學室—消化試驗室—乳製室—養牛場—養豚場—養蜂場

午後三時 畜産試驗場御發

午後四時 木更津町佐久間旅館御着

7. 御賜餐 (御宿舎)

午後六時 御賜餐 (一時間)

御茶菓 (二階廣間十五分位)

午後七時十五分 御賜餐完了

六月二十五日

御宿舎御出發

午前八時三十分

木更津航空隊御着

午前八時三十五分

木更津航空隊御發

午前九時三十分

鹿野山御着

午前十時二十分

同所御發

午前十時三十五分

木更津町佐久間旅館御着

午前十一時廿五分

佐久間旅館御發

午後零時四十三分

木更津驛御發

午後零時四十九分

兩國驛御着

午後二時三十分

但シ天氣晴朗ノ場合ハ

午後一時二十分

御旅館御發

午後一時三十分

航空隊御發(飛行機)

第三 御來着

帝國水難救濟會總裁 伏見宮博恭王殿下ニハ六月二十四日千葉市教育會館ニ於テ開催ノ帝國水難救濟會千葉支部總會

ニ御台臨遊バサル、爲メ御附武官海軍中佐堀江義一郎宮内事務官中根直之助、宮内屬鳴子雄吉ヲ從ヘサセラレ會長伯爵松平頼壽副會長子爵松平保男御同車申シ上ゲ同日午前八時五十八分兩國驛御發列車ニ召サレ一路千葉市ニ向ハセラル、石原千葉支部長、山本千葉支部副長ハ兩國驛ニ奉迎申上ゲ、總テ御豫定ノ時間ナル午前九時四十三分中空ニ炸裂スル御歡迎ノ煙火ノ響ト共ニ御召車ハ千葉驛ニ御着遊バサル。プラウトホームニハ石原知事以下各勅任官、貴衆兩院議員、縣會議員、千葉市長、各新聞社長、支局長御出迎ノ中ヲ佐野驛長御先導申上ゲ下リ「ホーム」ヨリ地下道上リ「ホーム」改札口御通過直チニ御召車ニ乗御供奉自動車ヲ從ヘ本町通ヲ縣廳ニ御成リ遊バサル、驛前ヨリ縣廳ニ至ル沿道ニハ官公吏救濟會關係者軍人遺族、傷痍軍人、市町村會議員、商工會議員區長、神職僧侶、醫師會長、在郷軍人會員、赤十字社員愛國婦人會員、消防組員、醫大藥專、男女中等學校、男女小學生等三千名其ノ他一般市民多數堵列シ肅然タル裡ニ殿下ノ御通過ヲ拜シ奉レバ殿下ニハ畏クモ終始御答禮御會釋ヲ賜ハル、千葉驛前ニハ奉迎綠門ヲ建テ御道筋ハ勿論全市戸毎ニ國旗ヲ掲揚シ今日ノ光榮ヲ喜ビ奉ル。

第四 單獨賜謁

午前九時五十分海軍々樂隊ノ莊嚴ナル君ガ代吹奏ノ裡ニ縣廳ニ御到着アラセラル、縣廳玄關ニハ川久保總務部長御出迎申上ゲ廳前廣場所定ノ箇所ニ拜謁者、縣廳員其ノ他諸官衙及一般市民堵列奉迎申上ゲタリ。

殿下ニハ石原支部長御先導ニテ貴賓室ニ御成直チニ同室ニテ石原千葉支部長以下左記ニ對シ單獨賜謁ノ儀行ハセラル。

帝國水難救濟會

千葉支部長 (千葉縣知事)

從四位勳三等

石原

雅

二郎

日本電氣工業株式會社代
齋藤 小重郎
諸角 多聞
富田 三之助
本多 貞次郎
近藤 一也
濱口 吉兵衛
佐久間 守
栗原 德增
渡邊 欽一郎
濱名 龜吉
佐久間 信
佐野 幸太郎
三橋 賢
長田 多一
出口 雄康
鈴木 苗次郎
佐久間 耀
遠藤 福太郎

株式會社日本勸業銀行千葉支店代表
日本製粉株式會社
千葉工場代
坪内 利八
櫻澤 千藏
喜勢 八十八
高橋 六藏
篠崎 仁太郎
飯 豐利一
丸山 留吉
鈴木 杉吉
本多 貞次郎
高橋 統閻
杉山 喬
濱田 初次郎
浮谷 權兵衛
中村 勝五郎
清峯 和太郎
田村 傳吉
中島 勢一
小川 浦次郎
福田 岩五郎

一六
松戸町貨座敷組合
代
宇田川 兼吉
吉田 甚左衛門
出山 半之助
山下 平兵衛
篠田 有德
岩井 力三郎
海老原文彦
石橋 毅
宮本 兼吉
篠塚 卯之助
山本 力藏
吉田 知三
成毛 俊一郎
向後 積善
菅澤 重雄
小松 崎喜三郎
千歲 貞次郎
土手 伊平

(一) 名譽會員章

日鏡製氷冷蔵株式會社代
加藤 重治
鏡子市東料理店
林 喜三郎
鏡子市繻詰製造組合代
濱本 清志
鏡子市海產物製造組合代
久保谷 龜太郎
小倉 宗司
高 中安太郎
花澤 五郎吉
鈴木 五平次
小川 吉次郎
酒井 市朗
古川 長太郎
鶴澤 權一
尾本 與兵衛
半場 文吾
齋藤 萬壽雄

浪花村岩船漁業協同組合代
瀧口 熊吉
吉田 榮吉
白井 貞次郎
君塚 五郎
吉野 力太郎
吉野 留吉
江澤 吉太郎
市川 石三
鈴木 芳太郎
大村 金藏
井上 仙太郎
石渡 安太郎
鶴岡 德藏
鈴木 諒

長浦村波瀾漁業協同組合代
花澤 清
鳥海 才平
近藤 惠造
金子 和助
小原 金治
江澤 賢治
本間 歡司
池田 菊之輔
田中 百治郎
山口 作兵衛
庄司 政吉
山口 良治
小澤 寅吉
宮原 金太郎

日鏡製氷冷蔵株式會社代
加藤 重治
鏡子市東料理店
林 喜三郎
鏡子市繻詰製造組合代
濱本 清志
鏡子市海產物製造組合代
久保谷 龜太郎
小倉 宗司
高 中安太郎
花澤 五郎吉
鈴木 五平次
小川 吉次郎
酒井 市朗
古川 長太郎
鶴澤 權一
尾本 與兵衛
半場 文吾
齋藤 萬壽雄

勝浦町製氷冷蔵株式會社代
吉野 力太郎
吉野 留吉
江澤 吉太郎
市川 石三
鈴木 芳太郎
大村 金藏
井上 仙太郎
石渡 安太郎
鶴岡 德藏
鈴木 諒

長浦村波瀾漁業協同組合代
花澤 清
鳥海 才平
近藤 惠造
金子 和助
小原 金治
江澤 賢治
本間 歡司
池田 菊之輔
田中 百治郎
山口 作兵衛
庄司 政吉
山口 良治
小澤 寅吉
宮原 金太郎

斯クテ十時三十五分御親授式滯リナク御終了 殿下ニハ貴賓室ニテ御休憩後十時四十分總會場ニ向ハセ給フ。

第六總會

一八

午前十時四十五分總裁 宮殿下ニハ總會々場教育會館ニ海軍々樂隊君ガ代吹奏ノ裡ニ御到着アラセラレ玄關ニハ川久保總務部長御出迎申上ダ、石原支部長ノ御先導ニテ貴賓室ニ御成リ御少憩ノ後再ビ石原支部長ノ御先導ニテ海軍々樂隊ノ莊嚴ナル君ガ代吹奏裡ニ御機嫌麗ハシク御臨場、參列員一同最敬禮ノ裡ニ式場正面御座所ニ御着遊バサル。

殿下ノ御右側ニハ堀江御附武官、中根宮内事務官、松平會長、松平副會長、石原支部長、山本支部副長、坂井、岩重各支部常議員、齋藤主事、鳥巢、木下石樽各理事、見山、澤各監事、石井、鳥野、高木、小野各幹事御左側ニハ遞信大臣代理多田參與官、內務大臣代理川久保總務部長、農林大臣代理小林參與官、永井千葉市長侍立申上ダ。

當日ノ參列員ハ來賓會員合計壹千七百餘名禮裝シテ何レモ今日ノ盛儀ニ感激ス。

午前十時五十五分山本支部副長謹ミテ帝國水難救濟會千葉支部總會開會ヲ宣ス石原支部長恭シク御前ニ進ミ謹ミテ左ノ式辭ヲ朗讀ス。

式辭

本日茲ニ總裁 宮殿下ノ御臺臨ヲ仰ギ奉リ多數來賓各位ノ御貴臨ヲ辱ウシ帝國水難救濟會千葉支部總會ヲ舉行スルハ洵ニ感激ニ堪ヘザル所ナリ惟フニ我邦ハ四面海ヲ繞ラシ海洋ノ惠澤ヲ享クルコト定ニ大ナリ即國防ニ通商ニ將又水産業ニ國家ノ存立ト國運ノ隆替トニ至大ノ關係ヲ有スル而モ一朝海魔ノ暴威ニ會フヤ其ノ災厄極マル所ヲ知ラス海上ノ旅客操業者ニ多大ノ犠牲ト損害トヲ與ヘ眞ニ國家民人ノ福利ヲ脅威スル甚シキモノアリ

帝國水難救濟會夙ニ海難救助ノ必要ヲ唱導シテ銳意其ノ發展ヲ期シ斯界ニ貢獻スル所大ナルモノアリ寔ニ人道ノ大義ニ即シ國家經濟ノ進展ニ寄與スル海國必須ノ事業ト謂フベシ而シテ本縣ニ於テハ既ニ明治三十一年委員部ヲ設ケ其ノ後昭和十年七月支部ノ設置ヲ見ル等本事業ニ當ルコト茲ニ三十有餘年ノ歲月ヲ閱シ逐年事業ノ進展向上ヲ見ツ、アルハ邦家ノ爲寔ニ慶賀ニ堪ヘザル所ナリ我カ千葉縣ハ帝都ノ咽喉タル東京灣ヲ抱擁シ他面激浪高キ太平洋ニ面シ帝都防衛ノ要衝ニシテ而モ海岸線ノ延長實ニ三七七軒餘ヲ有シ漁船ノ出入極メテ多ク海路交通亦日ニ繁盛ヲ加ヘ更ニ又國防上ヨリスルモ本縣支部ノ使命ハ愈々重キモノアリ此ノ時ニ方リ沿岸防護ノ完璧ヲ期シ斯界ニ貢獻センカ爲新ニ新鋭ナル救助機艇弟橋ノ完成ヲ機會ニ當支部會員總會ヲ開催シ益々救濟施設ノ整備充實ヲ圖リ克ク之ガ機能ヲ發揮シ以テ水難救濟會地方機關トシテノ使命遂行ニ邁進スル所アラントス

庶幾クハ關係者各位爾今益々協力一致以テ崇高至仁ナル本事業ノ大成ヲ期セラレンコトヲ聊カ所懐ヲ陳ベテ式辭トス

昭和十一年六月二十四日

帝國水難救濟會千葉支部長從四位勳三等 石原雅二郎

山本支部副長謹ミテ帝國水難救濟會千葉支部ノ會務ニツキ左ノ報品ヲナス。

帝國水難救濟會千葉支部業務報告

當支部會員總會ヲ舉行スルニ當リ業務ノ概況ヲ左ノ通報告ス。
一、支部ノ設置

明治三十一年委員部ヲ設置セラレ昭和十年七月支部ト改稱セラレ今日ニ至レリ。

一、會員及基金

昭和十一年五月末日現在會員

贊助會員 千六百七十五名

正會員 四千三十八名

特別會員 三百四十二名

名譽會員 百四十五名

有功章佩用者 二十七名

基金

救難基金 壹萬六千七百十五圓

一、事務機關

當支部ニハ支部長ノ下ニ支部副長一名、常議員三名、主事一名、支部委員四名更ニ地方委員部ニ委員長二十九名ヲ有シ各々其ノ事務ヲ擔當ス

一、事業機關

當支部管下ニハ現在救難所トシテ銚子、勝浦、布良ノ三ヶ所ノ外救難組合一ヶ所アリ是等ニ對シテハ其ノ職員所長以下百七十名ヲ配シ何レモ銳意救助事業ニ執掌シツ、アリ

一、救助設備

現在配屬シタル救助機艇ハ一雙ニシテ其ノ他ハ何レモ備船ナルヲ以テ救助作業上優秀ナル救助機艇ノ必要ヲ痛感シ今回精銳ナル救命艇弟橋ノ竣工ヲ見各救難所ニハ救命銃及救命砲等ヲ備ヘ其ノ他救命機具モ大體完備シ銳意海難救助ニ

努メツ、アリ

一、救助成績其ノ他

遭難船舶並人命ノ救助ニ付テハ救難所員一致團結ク其ノ任務ニ精勵シ既往十年間ニ於テ救助シタル人命一、五二一人救助船舶一五八艘、救助船體並載貨ノ見積價格八十五萬八千四百四十二圓ノ巨額ニ達シ良好ナル成績ヲ收メツ、アリ

一、恩賜燈

尙管下恩賜燈ノ設備アルモノハ銚子布良ノ二救難所アリ

茲ニ總裁 宮殿下ニハ參列者一同ノ起立最敬禮裡ニ普吐朗々優渥ナル御令旨ヲ賜フ。

令 旨

茲ニ帝國水難救濟會千葉支部會員總會ニ臨ミ親シク諸子ト相見ルヲ欣フ本縣風ニ海難救助施設ノ必要ヲ認メ數箇ノ救難所ヲ設置シタルカ其後支部當事者ハ事業ノ擴張ヲ企圖シ諸子ノ熱誠ナル協賛ニ依リ其基礎此ニ確立シ優秀ナル救助機艇ヲ建造スルニ至レルハ國家ノ爲メ洵ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ

然レ共三面海ニ瀕スル本縣トシテハ現在ノ救難施設ヲ以テ足レリトスヘキニアラス諸子克ク思フ此ニ致シ更ニ一層協力シテ其完備充實ヲ圖リ以テ人道上又國家經濟上ニ貢獻センコトヲ期セヨ

昭和十一年六月二十四日

次デ石原支部長恭シク殿下ノ御前ニ進ミ謹ミテ奉答文ヲ朗讀シ終リテ謹ミテ之ヲ殿下ニ獻シ參ラス。

帝國水難救濟會 總裁 大勳位 博 恭 王

奉 答 文

本日吉辰ヲトシ帝國水難救濟會千葉支部會員總會ヲ舉行スルニ當リ畏クモ總裁 宮殿下ニハ軍務御多端ニモ拘ハラセラレズ特ニ御台臨アラセラレ優渥ナル令旨ヲ賜フ。雅二郎等恐懼感激ノ至リニ堪ヘス爾今會員ト共ニ一層奮勵縣下ニ於ケル本事業ノ大成ニ努メ以テ令旨ノ萬分ノ一ニ酬イ奉ランコトヲ期ス 右謹ミテ奉答ス

昭和十一年六月二十四日

帝國水難救濟會千葉支部長

續テ松平會長ノ告辭、逓信大臣ノ祝辭(多田逓信參與官代理)内務大臣祝辭(川久保總務部長代讀)農林大臣祝辭(小林參與官代讀)永井千葉市長祝辭海軍大臣祝電(齋藤主事朗讀)アリ聽テ 殿下ニハ親シク御寫眞ヲ千葉支部ニ御下賜アラセラレ石原支部長恭シク御前ニ進ミ拜受ス。

諸事滞リナク進行スレバ石原支部長謹ミテ總裁 宮殿下ノ萬歳ヲ三唱シ壹千七百餘ノ參列者齊シク之ニ唱和シ歡聲堂ニ溢ル、斯クテ山本支部副長總會終了ノ旨言上ニ及ベバ總裁 宮殿下ニハ御機嫌イトモ麗ハシク君ケ代吹奏裡ニ參列員一同最敬禮ノ裡ヲ御退場、石原支部長ノ御先導ニテ工業試驗場ニ向ハセ給フ時ニ午前十一時二十分ナリ。

告 辭

本日茲ニ帝國水難救濟會千葉支部會員總會ヲ開催セラル、ニ當リ畏クモ總裁 宮殿下台臨アラセラレ優渥ナル令旨ヲ賜フ感激眞ニ惜ク能ハサル所ナリ

惟フニ海難救助ハ海國必須事業ニシテ人道上經濟上一日モ忽カセニスヘカラス支部當局思フ茲ニ效シ銳意事業ノ擴張

ヲ圖リ弘ク會員ヲ募集シテ支部ノ基礎ヲ鞏固ニシテ以テ救難施設ヲ充實シ海難ニ備フル所アラントス國家ノ爲メ寔ニ慶賀ニ堪ヘス

今ヤ我カ海運水産ノ躍進ニ伴ヒ本會ノ使命愈々重キヲ加ヘタルヲ覺ユ希クハ各位一致協力以テ大成ヲ期シ令旨ニ添ヒ奉ランコトヲ

一言以テ告辭トス

昭和十一年六月二十四日

帝國水難救濟會

會 長 伯爵 松 平 頼 壽

逓信大臣祝辭

本日總裁 宮殿下ノ台臨ヲ仰キ茲ニ帝國水難救濟會千葉支部會員總會ヲ開催セラル、ニ當リ一言祝辭ヲ述フルノ機會ヲ得マシタコトハ私ノ最モ光榮トセル所デアリマス

本會ハ創立以來四十有餘年、其ノ間銳意水難ノ防止救護ニ盡瘁セラレ、人道上經濟上多大ノ貢獻ヲ致サレテ居ルコトハ國民ノ齊シク感佩惜ク能ハサル所デアリマス。現下内外ノ時局ニ鑑ミ我海運ノ擴充伸展ヲ策スルコトハ喫緊ノ要務デアリマシテ水難救護事業ノ使命モ亦愈々重キヲ加ヘテ參ツタノデアリマス。斯ル秋ニ際シ帝都ヲ近クニ控ヘ、東京灣交通ノ要衝ニ位スル當地ニ本支部ノ發會ヲ見マシタルコトハ邦家ノ爲洵ニ慶賀ニ堪ヘマセヌ

何卒會員各位ニ於カレテハ本會ノ使命ニ願ミ海國日本ノ責務トシテ事業ノ整備擴充ニ一段ノ努力ヲ拂ハレンコトヲ切望致ス次第デアリマス

昭和十一年六月二十四日

逓信大臣 頼母木桂吉

二四

内務大臣祝辭

帝國水難救濟會千葉支部茲ニ總裁 宮殿下台臨ノ下ニ會員總會ヲ開催セラル
願フニ國際ノ關係愈々緊密トナリ産業貿易ノ發達著シキヲ加フルニ伴ヒ海上ノ事故亦隨ツテ滋キヲ效スハ勢ノ免レサ
ル所ナルヘク水難救援ニ關シ本會ノ努力ニ俟ツモノ今後一層大ナルモノアラントス冀クハ協心戮力相率キテ益々實績
ヲ擧クルニ努メ以テ使命ノ達成ニ竭クサレンコトヲ
一言ヲ寄セテ祝辭トス

昭和十一年六月二十四日

内務大臣 潮 惠之輔

農林大臣祝辭

茲ニ畏クモ總裁 宮殿下ノ台臨ヲ仰キ奉リ帝國水難救濟會千葉支部會員總會ノ開催セラル、ニ方リ一言所懷ヲ述フル
ハ洵ニ光榮トスル所ナリ輒近本邦漁業ノ情勢ヲ觀ルニ其ノ發展ノ實績著シキモノアリト雖我國ヲシテ世界首位ノ水産
國トシテ其ノ名實ヲ兼備セシムムニハ尙今後ノ進展ニ嚆望セラル、モノ頗ル多シト謂ハサルヘカラス漁業者ノ士氣ヲ
鼓舞シ勇躍シテ遠洋ノ漁利ヲ開發セシムルハ寔ニ今日ノ急務ニシテ之カ爲ニハ諸般ノ施設ヲ必要トスヘント雖水難ノ
防止及救濟ノ施設宜シキヲ得ルト否トハ斯業ノ振興ニ至大ノ關係アリト謂フヘシ

帝國水難救濟會ハ多年水難ノ防止ト救濟ニ意ヲ用ヒ其ノ業績見ルヘキモノアルハ邦家ノ爲慶賀ニ堪ヘス特ニ千葉支部
ハ其ノ位置本邦漁業上最モ重要ナル地ニアリ冀ハ其ノ使命ノ重要ナルニ鑑ミ水難ニ因ツテ生スル慘害ヲ未然ニ防止シ
進シテ本邦漁業ノ健全ナル發達ヲ齎成セラレムコトヲ一言以テ祝辭トス

昭和十一年六月二十四日

農林大臣 島 田 俊 雄

千葉市長祝辭

本日畏クモ總裁 宮殿下ノ台臨ヲ仰キ本市ニ於テ帝國水難救濟會千葉支部ノ總會ヲ開催セラル、ハ本市ノ深ク欣榮ト
シ感激惜ク能ハサルトコロナリ
抑モ國土狹少ニシテ四面環海ノ我が國ニ於テ國民ノ活力ヲ海洋ニ伸張シ國民生活ノ資源ヲ此處ニ求メントスルハ蓋シ
必至ノ國情ナリトス

水難救濟會ハ創立以來其ノ鞏固ナル基礎ト實力ヲ以テ適切有效ナル施設ヲ行ヒ多大ノ事績ヲ擧ケ我が國ノ漁業及海運
ノ發展ニ貢獻スル所極メテ顯著ナルモノアルハ内外ノ等シク推稱シテ惜カサル所ナリ
我カ千葉縣ハ帝都ノ外廓トシテ三面海ヲ環ラシ國防ノ要衝ニ位置ス乃チ支部ヲ置カレタル所以ニシテ支部亦其ノ重責
ニ鑑ミ要地ニ救難所ヲ置キ或ハ救難組合ヲ設クル等適切機宜ノ施設ヲ講シ昭和二年以來人命千五百餘人船舶百五十餘
隻財貨八十五萬餘圓ノ救助實績ヲ擧ケ更ニ最近救助機艇「弟橋」ヲ新造シテ救難施設ニ新威力ヲ加ヘ以テ本會事業ノ
遂行ニ違算ナキヲ期スルニ至レルハ誠ニ慶祝ニ堪ヘサルトコロナリ
本日光榮アル總會ニ於テ關係各員ハ本會ノ振興ニ一段ノ努力ト策勵トヲ加ヘラルヘキハ余ノ確信シテ疑ハサル所茲ニ

二五

謹ミテ祝詞ヲ敍ヘ本會ノ愈隆盛ナランコトヲ希望ス

昭和十一年六月二十四日

千葉市長 永井準一郎

二六

祝賀

帝國水難救濟會千葉支部會員總會ノ盛會ヲ祝シ益々斯業ニ御盡力ヲ希望ス

昭和十一年六月二十四日

海軍大臣 永野修身

第七 工業試驗場御視察

殿下ニハ午前十一時二十三分工業試驗場ニ御成、古川場長以下玄關ニテ御出迎へ申上ゲ石原知事、坂井經濟部長ノ御先導ニテ二階物産陳列室ニ御成擔任事項ニ付岡農產課長、松下農政課長、中根商工水産課長、本橋蠶糸課長、古川工業試驗場長ヨリ御説明申上グレバ 殿下ニハ御熱心御聽取種々御下問アラセラル。

特ニ千葉市伊勢源商店ヨリ出張セル男女工手八名ノ羽子板製作ノ實況ヲ御興深ク御覽遊バサレ御休憩ノ上坂井經濟部長御先導申上ゲ午後零時六分御祝宴第一會場タル教育會館ヘ向ハセラル。

第八 祝賀會

總裁 宮殿下ニハ午後〇時七分御祝宴第一會場タル教育會館ニ臨マセラレ參會者一同起立最敬禮裡ニ御席ニ着カセラル石原支部長左ノ挨拶ヲ述べ祝賀ノ宴ニ移ル。

祝賀會ノ挨拶

總裁 宮殿下ノ御許シヲ得マシテ一言御挨拶申上ケ度イト存シマス本日ハ當支部ニ於キマシテ 殿下ノ御台臨ヲ仰キ奉リ會員總會ヲ開催シイトモ盛況裡ニ滯リナク終了致シマシタニ就キマシテハ祝賀ノ微意ヲ表スル爲此ノ會ヲ催シタノデアリマスカ畏クモ總裁 宮殿下ノ御台臨ヲ辱ウシ重ネ重ネノ光榮ニ浴シマシテ洵ニ恐懼感激ニ堪ヘナイ次第ヲ御座イマス皆様ニハ遠路且ツ御多用ノ所ヲ御繰合セ下サイマシテ御責臨ヲ得マシタコトハ洵ニ有難ク存シマス

惟フニ本縣ハ我帝都ノ要衝デアリマシテ海岸線ノ延長三七七軒餘ヲ有シ近時水産業ノ進展ニ伴ヒ船舶ノ出入モ多ク更ニ帝都防衛ノ見地ヨリ致シマシテモ當支部ノ使命ハ愈々重大サヲ加ヘルコト、存シマスノテ新ニ新鋭ナル救命機艇弟橋ヲ建造致シタノデアリマスカ今回總會開催ニ當リマシテ辱クモ 殿下ニ於カセラレマシテハ軍務御多端ノ折柄ニモ拘ラセラレス態々御來縣遊ハサレマシテ御自ラ水難救濟會事業御振興ノ範ヲ垂レサセ給フ御思召ノ程ヲ體シ奉リマシテ何卒皆様ニ於カセラレマシテハ本會ノ使命ヲ完フ致シマスカ爲ニ今後一層ノ御援助ト御協力トヲ御願シテ止マナイ次第デアリマス

一言申述ヘマシテ開宴ノ御挨拶ト致シマス

殿下ニハ畏クモ來會者ト共ニ「折詰」ヲ開キ歡ヲ分チ給ヘバ來會者一同感激彌増ス聽テ松平會長ノ發聲ニテ千葉支部ノ萬歳ヲ三唱ス。

殿下ニハ來會者一同起立最敬禮ノ裡ニ御機嫌麗ハシク石原支部長ノ御先導ニテ御召自動車ニ乘御隨員ヲ從ヘサセラル

二七

午後零時十八分第二會場タル日本赤十字社千葉支部ニ向ハセ給フ

御祝宴第二會場タル日本赤十字社千葉支部ニ御成遊バサレタル 殿下ニハ海軍々樂隊ノ君ガ代吹奏裡ニ石原支部長御先導中上ダ參會者一同起立最敬禮裡ニ御席ニ着カセラル石原支部長挨拶ヲ述べ祝賀ノ宴ニ移ル。

殿下ニハ畏クモ來會者ト共ニ「折詰」ヲ開キ歡ヲ分チ給ヘバ一同感激彌増ス聽テ松平會長ノ發聲ニテ千葉支部ノ萬歳ヲ三唱ス 殿下ニハ海軍々樂隊ノ君ガ代吹奏來會者一同起立最敬禮ノ裡ニ御機嫌麗ハシク石原支部長ノ御先導ニテ御召自動車ニ乘御隨員ヲ從ヘサセラレ午後〇時二十六分縣廳ニ向セ給フ。

第九 御 晝 餐

午後零時二十七分總裁 宮殿下ニハ再ビ縣廳ニ御着、知事室ニテ御晝餐被遊ル御給仕ニハ東洋軒ボーイ謹ミテ奉仕シタリ、工業試驗室ニテイトモ御熱心ニ縣產品ヲ御台覽アラセラレテ千葉市伊勢源商店ノ羽子板製作ニ興セラレ御少憩中製品ヲ御取寄セ御選擇ノ上羽子板七點壁掛一點ノ御買上ヲ賜リ縣產品御獎勵ノ御思召ニ恐懼ス。

更ニ知事室ニ於テ畏クモ堀江御附武官中根事務官、石原支部長、山本支部副長、松平會長、松平副會長、鳥巢理事、石樽理事、木下理事、見山監事、川久保、板井、岩重支部常議員鳥野、小野、石井、高木幹事、齋藤主事、後藤縣官房主事ト共ニ記念御撮影ヲ賜ハリ一同深ク其ノ光榮ニ感激ス

第十 畜産試驗場御視察

醫科大學職員、學生中小學校生徒、都村關係者畜産試驗場職員奉迎ノ裡ニ午後一時五十分國立畜産試驗場ニ堀江御附武官、中根事務官、石原支部長、松平會長、松平副會長以下ヲ從ハラレ御着、針本場長ノ御先導ニテ貴賓室ニ御成リ遊バサル、場長ハ謹ンデ職員名簿、畜産試驗場一覽ヲ捧呈ス 殿下ニハ高等官一同ニ御賜調ノ後場製品ピタホンヲ御召上リ場長ヨリノ事業概況ヲイトモ御熱心ニ御聽取アラセラレ二階標本陳列室ヲ御巡覽遊バサレ自動車ニヨリ現業部ニ向ハセラル針本場長ノ御説明ニテ製肉製乳各室ヲ御視察ノ上養牛場、養豚場、養鶏場、養蜂場ヲ御巡覽何レモ全國一ノ施設ノ飼育振リヲイトモ御熱心ニ御台覽遊バサレ御研究深キ御質問ニハ場長モ恐懼奉答申上ゲタリ玄關廣場ニ於テ獨特ノプロスペクト牛ノ基盤乘リヲ殊ノ外御興深ク御覽アリ廳舎ニ御歸還、直チニ屋上展望臺ニ御成畜産試驗場模型ニヨリ釘本場長御説明申上ゲ貴賓室ニテ御少憩ノ後御機嫌麗ハシク午後三時畜産試驗場ヲ御發遊バサレタリ。

畜産試驗場ニテハ場製品チーズ、ピタホン、ハムヲ獻上ス

第十一 木更津町御成

午後四時御召自動車ニテ沿道町村民奉迎ノ中ヲ木更津町佐久間旅館御着門前ニテ御出迎ヘ申上ゲシ川久保總務部長、中根商工水産課長、後藤官房主事、佐久間館主等ニ御會釋ヲ賜ヒツ、館主ノ御案内ニヨリ直ニ三階御居室ニ御成御少憩後御入浴ノ上御賜餐迄御寛ギ遊バサル。

第十二 御 賜 餐

總裁 宮殿下ニハ午後六時御賜餐拜受者一同起立最敬禮裡ニ御入場御席ニ御着座アラセラレ。

御席ハ上座中央ニ設ケラレ御向側ニ松平會長御左右ニ松平副會長石原支部長次デ前方御兩側ニ御賜餐者位置シ合計三十名ナリ。

御賜餐ハ御賜盃ノ儀ヨリ始マリ即チ 殿下ニハ石原支部長以下ニ對シ順次御手ツカラ堀江御附武官ノ差シ上ゲ參ラス宮家菊花御紋章入ノ銀盃ヲ下シ賜ハル。

御下賜ヲ受ケタル人々ハ「ボーイ」ノ酌ニヨリ御前ニ於テ御酒ヲ戴キ恐懼感激ノ裡ニ御賜盃ヲ捧ゲツ、御前ヲ退ク。御賜盃ノ儀終レバ直ニ御宴ニ移リ歡談ノ聲朗カナリ。

殊ニ 殿下ニハ終始御機嫌麗シク酒宴次第ニ進ム頃松平會長ハ殿下ノ御前ニ進ミ謹ミテ御禮ヲ言上ス。

總テ松平會長ニ御賜盃ヲ捧ゲ一同之ニ和シ謹ミテ 殿下ノ御健康ヲ祝シ奉ル。

斯クテ午後七時半感激措ク能ハザル御賜餐ノ儀滞リナク終了後二階八十疊ノ廣間ニ成ラセラレ山本警察部長所藏ノ探幽齋筆雪景山水ノ大横披ヲ飾レル二間床前ニ設ケタル御席ニ御着座御茶菓ヲ賜ハリ一同感激ノ中ニ御退場遊バサル。

御賜餐拜受者

千 葉 縣 廳	官 吏	從四位勳三等	石原雅二郎
同	同	從五位勳六等	山本義章
同	同	正五位勳五等	川久保常次郎
同	同	從五位勳六等	坂井貞一
同	同	從五位勳六等	岩重隆治
同	同	從五位勳六等	齋藤小重郎
同	同	勳三等	鶴澤宇八
東京市大森區池上	代議士漁業		

銚子市川口	無		飯田悦三
夷隅郡興津町	會社社長		森 轟 昶
千 葉 市	銀行頭取		古莊四郎彦
夷隅郡浪花村	漁業	勳八等	金井貞雄
同 勝浦町	縣會議員會社員	從五位勳五等	吉野力太郎
同 千葉市寒川	無職	從七位勳七等	藤 川 信
同	官 吏		佐久間 尙
東葛飾郡葛飾町西海神四三〇	無職		石橋登利知
銚子市	海産物商	勳五等	久保谷龜太郎
山武郡豐海村不動堂	農 業		佐久間 守
君津郡富津町	漁 業		濱 名 龜 吉
安房郡西岬町	漁 業		佐野幸太郎
君津郡木更津町	漁 業		佐久間 信
千 葉 市	千葉市長	從四位勳四等	永井準一郎
	農林參與官	正五位勳四等	小林 絹 治
	遞信參與官	正五位勳四等	多田 滿 長
	遞信書記官	正 六 位	永井 實 行
帝國水難救濟會	會 長	正三位勳二等伯爵	松平 頼 壽

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
副	理	同	同	同	同	同	同	同	同
會	事	事	事	事	事	事	事	事	事
長海軍少將	海軍中將								
從三位勳二等功五級子爵	從三位勳二等								
松平保男	鳥巢玉樹								
正五位勳三等	木下義介								
石樽辻五郎	見山正賀								
小野正信	高木富次郎								
鳥野團一	石井二郎								
勳三等	正五位勳三等								
鳥野團一	石井二郎								

第十三 木更津航空隊御視察

殿下ニハ午前六時御起床御入浴後御朝食ヲ召サレ八時三十分御宿舍御發着道ニ於ケル町民堵列奉迎ノ中ヲ木更津航空隊ニ御成遊バサル。

衛兵所ニ於ケル喇叭タル喇叭ノ音ト共ニ御召自動車ハ七ルガ如ク玄關入口ニ御着遊ザサル時ニハ八時三十五分。竹中司令ノ御先導ニテ司令公室ニ御少憩其ノ際司令ヨリ現狀申告ヲ御聽取遊バサレ次デ廳舍御巡覽ノ後兵舎階下ヨリ自動車ニ召サレ格納庫前ヲ御通過救命艇「弟橋」ヘト向ハセラル。

初夏ノ天空ハ拭フガ如ク晴レ渡リ木更津灣頭ニ繫ル「弟橋」橋上高ク救濟會旗ハ掲ゲラレ 殿下ノ御來着ヲ御待チ申上グレバ殿下ハ直ニ御乘艇鳥巢中將ノ御説明ヲ御聽取遊バサレ御機嫌麗シク九時三十分御發一路鹿野山ヘト向ハセラル。

第十四 鹿野山、神野寺御成

六月二十五日午前九時三十分木更津航空隊ヲ御發着濃イ房總ノ絶景鹿野山ニ向ハセラレ九十九折ノ急坂ハ青葉ニ縫ハレ神野寺ノ仙境ハマサニ詩デアル神野寺ニハ坂井經濟部長、岡農産課長並ニ縣廳々員ヲ初メ齋藤、秋元村長、助役鹿野山小學校職員兒童、青年團其ノ他堵列シ肅然タル裡ニ奉迎申上テ午前十時二十分堀江御附武官、中根事務官、石原知事松平會長、松平副會長等ヲ從ヘサセラレ同寺ニ御成遊バサル住職補純隆師ノ御先導ニテ御休息所ニ向ハセラレ御少憩石原知事ヨリ鹿野山神野寺ノ沿革及縣有林ノ經營ノ概要ニ就テ御説明申上テ大塚屋旅館臨御展望臺ニナラセラレ岡農産課長ヨリ四方ノ風光並ニ縣有林ノ經營等即チ模範林御成婚記念模範林、御大禮記念模範林等ニ就テ仔細ニ互リ御説明申上テ更ニ大御展望臺ニ知事御先導ニテナラセラレ御下問アリ農産課長ヨリ夫々御説明申上テタルニ 殿下ニハ御展望臺ヨリノ雄大ナル眺望ト風光明媚ヲ御嘆賞ノ裡ニ御機嫌麗シク午前十時四十分鹿野山御發着御宿舍ニ御歸還被遊ル。

第十五 御歸京

二十五日午前十一時二十二分御宿舍ニ御歸還遊バサレタル 殿下ニハ御休憩御晝餐ノ後午後一時三十分再ビ木更津航空隊ニ向ハセラレ横須賀航空隊三原大尉操縦ノ「フォッカー」横領一號機ニ御搭乘堀江御附武官、中根事務官御同乗申上テ同四十分石原知事竹中司令外軍民多數ノ奉送裡ニ木更津上空ヲ御一周一路羽田飛行場ニ向ケ御歸還遊バサル。

第十六 御下賜品並ニ御下賜金

總裁 宮殿下ニハ六月二十五日御離縣ニ際シ石原支部長以下關係者ニ對シ御下賜品、御下賜金ヲ賜ハリタリ。

第十七 獻上品

獻上品ハ其ノ範圍ヲ縣内物産中ヨリ選定スルコトトシ協議ノ結果、醬油、味淋、鯉節、八端座布圍地、初夢漬、枇杷ヲ選定シ内枇杷ハ農産課、他ハ商工水産課ニ於テ現品、容器、包裝等マデ準備スルコト、シ六月二十三日午前中ニ一切整備シタル上知事官房ニ納付セシメタリ。

又千葉市及君津郡木更津町ヨリノ獻上品ハ知事ヨリ傳獻スルコト、ナリ其ノ現品モ一切整備ノ上、同二十三日午前中ニ知事官房ニ納付セシメタリ。

六月二十三日前記獻上品全部ノ納付ヲ受ケタルヲ以テ知事官房秘書係室ヲ陳列室トナシ、陳列臺ニ白布ヲ布キ陳列臺ノ左、右、背ノ三面ヲ紅白ノ幕ニテ張り廻シ二十四日朝ニ至リテ納付ノ帝國水難救濟會千葉支部ヨリノ獻上品ヲ加ヘテ一切ノ獻上品ヲ此處ニ陳列セリ。

二十四日 殿下御晝食ヲ済マセラレ縣廳貴賓室ニテ御休憩ノ際、石原知事ハ堀江御附武官ヲ通ジテ獻上品目錄並ニ獻上品並傳獻品解説書(本縣獻上品、千葉市、君津郡木更津町ヨリノ傳獻品)ヲ(帝國水難救濟會千葉支部獻上品分トモ)ヲ

奉呈シタル後陳列室ニ陳列ノ獻上品ノ台覽ヲ賜ハリタリ。

獻上品並ニ傳獻品ハ左ノ如シ。

縣獻上品

- 一 醬 油 參 樽 東葛飾郡野田町野田醤油株式会社及銚子醤油株式会社
(ヤマサ)ヒゲタヒ醸造
- 一 味 淋 貳 箱 東葛飾郡流山町野田醤油株式会社及市川寶酒造株式会社醸造
- 一 鯉 節 壹 箱 安房郡船形町渡邊徳藏及夷隅郡豐濱村久我春吉謹製
- 一 八端座布圍地 壹 反 山武郡正氣村齋藤庄作謹製
- 一 初 夢 漬 壹 箱 匝瑳郡八日市場町大川久次郎謹製
- 一 枇 杷 貳 箱 安房郡富浦町房洲枇杷組合聯合會生産

縣傳獻品

千葉市獻上品

- 一 晒 水 飴 壹 箱 千葉市參松合資會社千葉工場謹製
- 一 葡 萄 糖 壹 箱 同

君津郡木更津町獻上品

- 一 與 三 郎 卷 壹 箱 君津郡木更津町君塚幸次郎謹製
- 一 梅 び し ほ 壹 箱 君津郡木更津町鈴木勉謹製

帝國水難救濟會千葉支部獻上品

- 一 弟橋比賣命御聖像(鑄物)壹體 東京市瀧野川區田端町香取正彦謹製

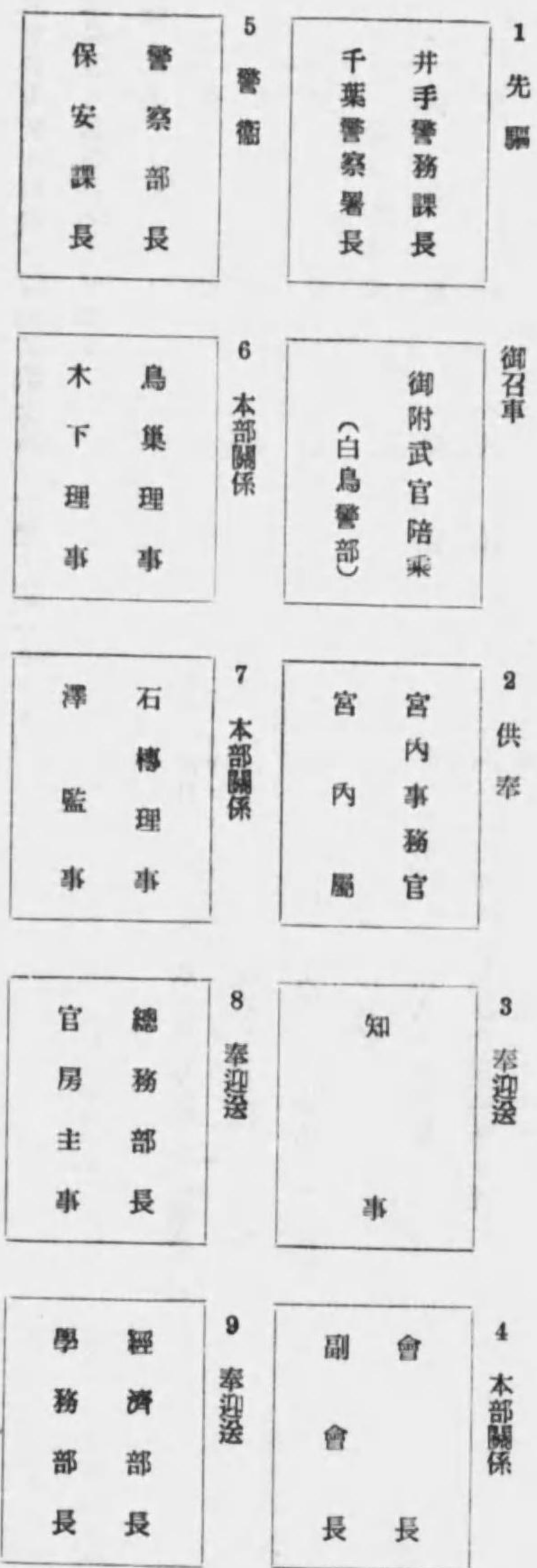
二十四日午後右獻上品並ニ傳獻品ヲ東京伏見宮御殿ニ納入セリ。

第十八 御行列

伏見宮殿下御成ニ付使用セラレタル自動車ハ縣有一〇輛厩上四輛計十四輛ニシテ其ノ他ハ新聞攝影班、事務用トシ御列自動車ノ編成左ノ如シ。

六月二十四日

一、千葉驛—縣廳間



二、縣廳—教育會館間



三、教育會館—日赤支部間

前掲行列同様

四、日赤支部—縣廳間

前掲行列同様

五、縣廳—畜産試験場間

前掲行列同様

六、畜産試験場内

1 御案内

場長
保安課長

5 本部關係

會長
副會長

御召車

御附武官陪乘

6 本部關係

鳥巢理事
木下理事
石樽理事
澤田理事

2 供奉

宮内事務官
宮内

7 奉迎送

經濟部長
學務部長
農產課長
粟津技師

3 奉迎送

農林大臣

8 警備

井手警務課長
千葉警察署長

4 奉迎送

知事
警察部長

七、畜産試験場—佐久間旅館間

1 先驅

井手警務課長

御召車

御附武官陪乘
(白鳥警部)

2 供奉

宮内事務官
宮内

3 奉迎送

知事

4 本部關係

會長
副會長

六月二十五日

八、佐久間旅館—航空隊間

1 先驅

井手警務課長
木更津警察署長

御召車

御附武官陪乘
(白鳥警部)

2 供奉

宮内事務官
宮内

3 奉迎送

知事

4 本部關係

會長
副會長

5 警備

警察部長
保安課長

6 奉迎送

海軍大臣

7 奉迎送

逓信大臣

8 奉迎送

内務大臣

9 奉迎送

農林大臣

5 警備

警察部長
保安課長

6 本部關係

鳥巢理事
木下理事

7 本部關係

石樽理事
澤田理事

10 本部關係

鳥巢理事
木下理事

11 本部關係

石博理事
澤監事

12 奉迎送

總務部長
學務部長
官房主事

九、航空隊—鹿野山間

1 先驅

井手警務課長
木更津警察署長

御召車

御附武官陪乘
宮内事務官
(白鳥警部)

2 奉迎送・本部關係

知事
會長

3 供奉並警衛

警察部長
保安課長
宮内警部
田中警部

十、鹿野山—佐久間旅館間

1 先驅

井手警務課長
木更津警察署長

御召車

御附武官陪乘
宮内事務官
(白鳥警部)

2 奉迎送・本部關係

知事
會長

3 供奉並警衛

宮内警部
警察部長
保安課長
田中警部

4 奉迎送

經濟部長
農產課長

十一、佐久間旅館—航空隊

1 先驅

井手警務課長
木更津警察署長

御召車

御附武官陪乘
(白鳥警部)

2 供奉

宮内事務官
宮内屬

3 奉迎送・本部關係

知事
副會長

4 警衛

警察部長
保安課長

第十九 縣民ノ奉祝

危マレン天候モ一夜ヲ過ギ全ク霽レ渡リ六月二十五日ハ初夏ノ陽光麗カニ射シ暑氣又一入ナリ、今日ノ盛儀ヲ壽グ爲全市町村竝沿道戸毎ニ國旗ヲ掲ゲ花火ハ絶へ間ナク打上ゲラレ殊ニ木更津町ニ於テハ夕暗迫ル午後六時半木更津小學校運動場ニ紅燈ヲ翳シテ參集全町民舉ゲテノ提灯行列ヲ行ヒ樂隊ノ吹奏勇シク石川町長ヲ先導トシ蜿蜒タル長蛇ノ群ハ町内要所ヲ練リ總テ御宿舍前ニ出デ祝意ヲ表スル萬歳ノ聲ハ天ニ轟クバカリナリ。

第二十 御禮言上

石原支部長ハ七月三日午後 伏見宮御殿ニ伺候シ謹ミテ帝國水難救濟會千葉支部總會ニ成ラセラレ且ツ御下賜品竝ニ御下賜金ヲ賜ハリタル御禮ヲ言上セリ。

第二十一 慰勞會

七月四日 石原支部長ハ慰勞ノ意味ヲ以テ支部總會係員ヲ市内出洲榮亭ニ招待慰勞會ヲ催シタリ。

第二十二 帝國水難救濟會千葉支部總會處務規程

第一條 本事務ヲ處理スル爲メ左ノ五部ヲ置ク

- 一 總務部 部長 川久保 常次郎
- 一 設營部 同 坂井 貞一
- 一 儀式部 同 山本 義章
- 一 奉送迎部 同 岩重 隆治
- 一 警衛部 同 山本 義章

第二條 各部ニモ左ノ係ヲ置ク

- 各係ニ係長ヲ置キ部長之ヲ指揮監督ス
- 係長ハ係ノ事務ヲ處理シ係員ヲ統督ス
- 一 總務部 係長 後藤 眞三男

- 2 賜調係 同 後藤 眞三男
- 3 獻上品係 同 後藤 眞三男
- 4 用度係 同 戸田 信義
- 二 設營部
 - 1 工營係 係長 宮崎 正夫
 - 2 式場係 同 杉原 茂
 - 3 宿舍係 同 中根 秀雄
 - 4 御視察係 同 岡尊 信
- 三 儀式係
 - 1 庶務係 係長 齋藤 小重郎
 - 2 儀式係 同 川邊 大吉
 - 3 記録係 同 郡山 兼松
- 四 奉送迎部
 - 1 奉送迎係 係長 龍野 喜一郎
 - 副係長 近藤 唯一
- 2 接待係 係長 近藤 唯一
- 五 警衛部
 - 1 警衛係 係長 井手 成三

2 警備係 同 三好留祐
 3 衛生係 同 玉木熙
 4 情報係 同 下村鐵男

第三條 本事務中他ノ部、係ニ關係スルモノハ合議若ハ回覽スルノ外主事ニ合議スベシ
 第四條 各部係ノ分掌事務左ノ如シ

一 總務部管掌事項

- 1 總務係
 - (一) 御旅館ニ關スル事項
 - (二) 連絡交渉ニ關スル事項
 - (三) 其ノ他他部係ニ屬セザル事項
- 2 賜調係
 - (一) 賜調ニ關スル事項
 - (二) 御機嫌奉伺ニ關スル事項
 - (三) 門鑑ニ關スル事項
- 3 獻上品係
 - (一) 獻上品ニ關スル事項
- 4 用度係
 - (一) 御料品等調達ニ關スル事項

- (二) 御荷物其ノ他運搬ニ關スル事項
- (三) 係員ノ所要品調達ニ關スル事項
- (四) 人夫傭人及會計ニ關スル事項

二 設營部管掌事項

- 1 工營係
 - (一) 御道筋ニ關スル事項
- 2 式場係
 - (一) 御親授式場、御休憩所、總會式場
 祝賀會場、晚餐會々場、設備ニ關スル事項
- 3 宿舎係
 - (一) 一般ノ旅館準備ニ關スル事項
- 4 御視察係
 - (一) 御視察箇所ニ關スル事項

三 儀式部管掌事項

- 1 庶務係
 - (一) 金錢出納ニ關スル事項
 - (二) 物品調度ニ關スル事項
 - (三) 各種名簿作製ニ關スル事項

- (四) 案内状、通知状等ノ發送ニ關スル事項
 - (五) 其ノ他發會式關係事務ニシテ他ノ係ニ屬セザル事項
- 2 儀式係
- (一) 御行列ニ關スル事項
 - (二) 總會ニ關スル事項
 - (三) 御親授式ニ關スル事項
 - (四) 晚餐會ニ關スル事項
 - (五) 有功章會員以上ニ對スル有功章狀、名譽會員章傳達ニ關スル事項
- 3 記録係
- (一) 支部發會式諸記録ニ關スル事項
- 四 奉送迎部管掌事項
- 1 奉送迎係
- (一) 奉送迎ニ關スル事項
- 2 接待係
- (一) 御休憩所ニ關スル事項
 - (二) 各式場ニ於ケル來賓並會員ノ受付案内接待ニ關スル事項
- 五 警衛部管掌事項
- 1 警衛係

- (一) 御警衛ニ關スル事項
 - (二) 自動車ニ關スル事項
- 2 警備係
- (一) 警備ニ關スル事項
- 3 衛生係
- (一) 衛生ニ關スル事項
- 4 情報係
- (一) 各種發表ニ關スル事項
 - (二) 寫眞撮影ニ關スル事項

第二十三 餘 録

昭和十年八月一日	救助機艇建造ノ爲建造費募集豫定表ヲ作製各地方委員長ニ援助方依頼狀發送
昭和十年十二月五日	横濱ヨット工作所ト救助機艇建造請負契約ス
昭和十一年四月十三日	支部長ヨリ會長ニ對シ御親授者名簿送付ス
同 五月八日	帝國水難救濟會ヨリ御親授式舉行ニ關シ照會來ル
同 五月十三日	支部長ヨリ帝國水難救濟會長ニ對シ總裁 宮殿下御台臨奉請方申請ス

昭和十一年五月十六日 支部長ヨリ東京鐵道局長ニ對シ汽車賃割引願提出ス
 同 五月十八日 帝國水難救濟會千葉支部總會處務規定制定ス
 同 五月十九日 支部長ヨリ會長ニ對シ御賜餐者名簿提出ス
 同 五月廿三日 救助機艇弟橋ト命名進水式舉行
 同 五月廿五日 總裁 宮殿下奉仕者決定ス
 同 五月廿六日 支部長ヨリ千葉郵便局長ニ對シ當日祝賀會場内ニ郵便局臨時出張所ヲ設ケ祝賀ニ因メル圖案文字入通信日附印ヲ捺捺取計ヒ方申請ス
 同 五月廿七日 支部長ヨリ千葉縣教育會ニ對シ教育會館講堂日本赤十字社千葉支部ニ對シ同支部講堂使用ノ件申込タリ
 同 五月廿八日 總會開催ニ之ヲ各方面ニ案内狀發送ス
 同 五月三十日 支部長ヨリ各地方委員長ニ對シ鐵道割引乗車證交付方依頼ス
 同 六月十一日 支部長ヨリ會長ニ對シ總裁 宮殿下御寫眞御下賜奉請方申請ス
 同 六月十三日 總裁 宮殿下御日程決定ス
 同 六月十四日 御行列順序決定ス
 同 六月十四日 單獨賜謁者決定ス
 同 六月十四日 支部總會事務分掌ニ關スル件決定ス
 同 六月十四日 救助機艇弟橋ノ引渡ヲ受ク

同 六月十七日 式辭及業務報告案等決定ス
 同 六月十八日 支部總會豫算決定ス
 同 六月十九日 廳内議員控室ニ於テ山形支部總會ノ狀況ヲ映寫シ各係員ニ參觀セシム
 同 六月廿二日 事務打合せノ爲係長合議
 同 六月廿三日 自動車豫行演習ヲ舉行ス
 同 六月廿四日 午前中ヲ以テ廳内各部屋剝當通り移轉整備シ午後知事、警察部長巡視ス
 同 六月廿五日 警務課長沿道ヲ巡視ス
 同 六月廿六日 總裁 宮殿下御台臨總會開催
 同 六月廿六日 總裁 宮殿下木更津町、鹿野山ニ御成
 同 七月三日 各方面ニ禮狀發送ス
 同 七月四日 知事御禮言上ノ爲宮邸ニ伺候
 同 七月四日 慰勞會
 寄贈其ノ他借用シタル屏風、盆栽其ノ他ノ調度品並ニ調達先
 一、盆栽 (檜) (貴賓室) 市川市 中村勝五郎
 一、盆栽 (黒松) (知事室) 市川市 中村勝五郎
 一、金屏風 (同) 千葉市 松本高三郎
 一、盆栽 (柘榴) (知事應接室) 市川市 中村勝五郎
 一、生花三 (總會場) 千葉市 池坊龍生派教員支部

- 一、盆栽 (五葉松) (總會場) 市川市 中村勝五郎
- 一、盆栽 (真柏) (總會場御休憩室) 市川市 中村勝五郎
- 一、生花二 () 千葉市 池坊龍生派教員會
千葉縣支部

獻上品解説書

一、醬油 三樽

醬油ハ本縣ノ特産品ニシテ其ノ産額ハ縣下生産中米ニ次ギ昭和八年産額一、一一九、三八五石一七、四七一、五八五圓ヲ算シ全國第一位ヲ占ム東葛飾郡野田町及銚子市ヲ主産地トシテ其ノ品質ノ優良ト産額トハ夙ニ名聲アリ東京ヲ最大需要地トシ内地ハ勿論北海道、臺灣、朝鮮ニ販出セラル、外遠ク滿洲、米國、英國、南洋方面ニ輸出セラル近時他府縣ニ於ケル優良品ノ出現ニ禍セラル、傾向ニ在リ當業者ハ何レモ經營技術ノ改善ニ専念シ縣ニ於テモ之カ指導ニ努メ其ノ振興ヲ期シツ、アリ。本品ハ東葛飾郡野田町、野田醬油株式會社(キツコーマン)及銚子醬油株式會社(ヤマサ、ヒゲタ)ノ醸造品ナリ。

一、味淋 二箱

味淋ハ醬油ト共ニ本縣ノ特産品ニシテ昭和八年産額二六、六九五石一、五七五、〇六二圓ヲ算シ其ノ品質並ニ産額ハ共ニ全國ニ冠タリ。

昭和三年始メテ東葛飾郡流山町ニ於テ製造セラレ爾來當業者苦心研究ノ結果遂ニ優良品ヲ製出シ今日ノ聲價ヲ博スルニ至リ。

東葛飾郡、香取郡ハ之カ主産地ニシテ本品ハ東葛飾郡流山町野田醬油株式會社(万上味淋)及市川市寶酒造株式會社

(寶味淋)ノ醸造品ナリ。

一、經節 一箱

近時本縣ニ於ケル遠洋漁業ノ發展ト共ニ原料タル、漁業獲高ノ増加ニ伴ヒ之カ製造業ノ發達ヲ見ルニ至レリ。昭和八年産額ハ六七、二六六貫二六八、五〇〇圓ニ達シ夷隅郡大原町勝浦町豐濱村安房郡船形町太海村又銚子市ハ何レモ其ノ主産地トス而シテ製造設備並ニ技術ハ漸次改善セラレ品質ハ著シク向上シ東京、静岡、愛知方面ニ販出スルモノ最モ多ク逐年其ノ聲價ヲ高メツ、アリ、本品ハ安房郡船形町渡邊德藏並ニ夷隅郡豐濱村久我春吉ノ謹製品ナリ。

一、八端座布圍地 一反

本縣ノ絹織物生産年額ハ十二萬八千六百餘圓ニスギズ其ノ産額多カラズト雖モ製品中八端座布圍地ハ技術的ニ工夫セラレ從來ノ八端織ノ組織ヲ座布圍地ニ應用シテ市松式ノ模様ヲ現ハシタルモノニシテ一名八橋ト稱セラル其ノ品質趣向ハ先進地優良品ト遜色ナキニ至リ漸次其ノ聲價ヲ認メラレツ、アリ。

一、初夢漬 一箱

縣下匝瑳郡地方ハ茄子ノ産地トシテ廣ク知ラレタリシモ之カ加工利用ニ付顧ミルニトカク只季節向ニ賞味セラル、ニ過キザリシ明治初年ニ至リ常時保存ニ堪ヘ各方面ニ茄子ノ産地トシテ紹介シ併セテ郷土宣揚ニ資スル爲茄子ヲ以テ菓子ノ製造ヲ考案シ即チ最盛季ノ秋茄子ノ皮ヲ剥ギ蜜漬トシ更ニ蜜煮ノ上茄子ノ原型ノ儘仕上タルコトニ成功セタルヲ以テ古來ヨリ巷間傳フル一富士二鷹三茄子ノ縁起ニ因ミ初夢漬ト名付ケ販賣シタルニ風味良ク珍菓トシテ好評ヲ博スルニ至レリ。

爾來之カ同業者並ニ生産額増加シ一ケ年約五千圓ヲ生産ス主トシテ土産品トシテ需要多シ。

本品ハ匝瑛郡八日市場町大川久次郎ノ謹製品ナリ。

一、枇杷 三箱

本縣ニ於ケル枇杷ノ栽培ハ今ヨリ凡ソ百五、六十年前ニシテ明治初年頃ヨリ交通機關ノ發達ト相俟ツテ漸次發達ヲ示シ本縣特産果實トシテ安房郡富浦町ヲ中心トシテ栽培セラレ其ノ作付反別約三百五十町步年産約五十萬圓ヲ算スルニ至レリ、而シテ之レガ品質ノ向上荷造法ノ改善販路ノ擴張等漸ク進展シ本邦屈指ノ枇杷産地トシテ名聲ヲ博スルニ至レリ。

本品(田中種)ハ安房郡房洲枇杷聯合會ノ生産品ナリ。

傳 獻 品

一、晒 水 飴

晒水飴ハ古來麥芽等ヨリ製造セラレタルモ近年ハ澱粉ヲ酸ニヨリ分解處理スル方法行ハレ大規模工業的ニ製造セラ

ル。
大正十一年一月千葉市寒川ニ參松合資會社千葉工場設立セラレ千葉縣内ニ多産スル甘藷澱粉ヲ用ヒ製造セシニ始マリ昭和拾年同工場ノ生産ハ一萬三千餘疋價格二百三十五萬圓ノ産出ヲ見直接食用ノ外廣ク製菓原料トシテ使用セラル。日本内地ノミナラズ遠ク支那、滿洲、南洋方面ニ迄販出セラル、ニ至レリ、

本品ハ千葉市參松合資會社千葉工場ノ謹製品ナリ。

一、葡 萄 糖

葡萄糖ハ通稱グルコース又ハ澱粉糖トモ稱セラレ千葉市内ニ於テ晒水飴ト同ジク參松合資會社千葉工場ニ於テ大正十三年以來甘藷澱粉ヲ原料トシ加水分解法ニヨリ製造セラレ、年産約四千五百疋價格九十萬圓ヲ算シ逐年其ノ用途拓ケ

廣ク各種食料品ノ調味料トシテ使用セラル、外味淋等ニモ加味シ又人造絹糸及ヒ皮等ノ精製等工業間ニモ使用セラレ支那、滿洲及南洋方面ニ迄輸出セラル。

本品ハ參松合資會社千葉工場ノ謹製品ナリ。

一、與 三 郎 卷

與三郎卷ハ大正四年ヨリ木更津町ニ由緒深キ與三郎ノ名ヲ取り普通羊羹ニ梅ノ實ノ肉ヲ加ヘ更ニ柴蘇ノ葉ヲ以テ包ミ加工シ香氣シイ獨特ノ羊羹ナリ、昭和十年中へ産額二十萬本價格三萬圓ニ達シ筑立潮干狩其ノ他ノ遊樂都人士等ニ賞翫セラレ、大正十四年二月登錄商標ヲ受ク木更津町内七軒ノ特約店ヲ設ケ更ニ東京市内ノ松屋、二幸、高島屋等ノ各百貨店ニ於テ販賣ス。

本品ハ君津郡木更津町君塚幸次郎ノ謹製品ナリ。

一、梅 び し ほ

梅びしほハ明治四十五年木更津町ニ鐵道ノ開通セラレシヲ機トシ近郷ヨリ多ク産出スル梅ノ實ノ種子ヲ除キ砂糖ヲ加ヘ良ク攪拌シタル後二三ヶ月貯藏シタルモノニシテ、之ニ着色ヲ施サス梅自體ノ色ヲ帶バシムルヲ特徴トシテ加工シタルモノニシテ昭和十年中ノ産額四千個價格二千圓ニ達シ外來者ノ土産物トシテ愛用セラル。

本品ハ君津郡木更津町鈴木勉ノ謹製品ナリ。

獻 上 品 解 說 書

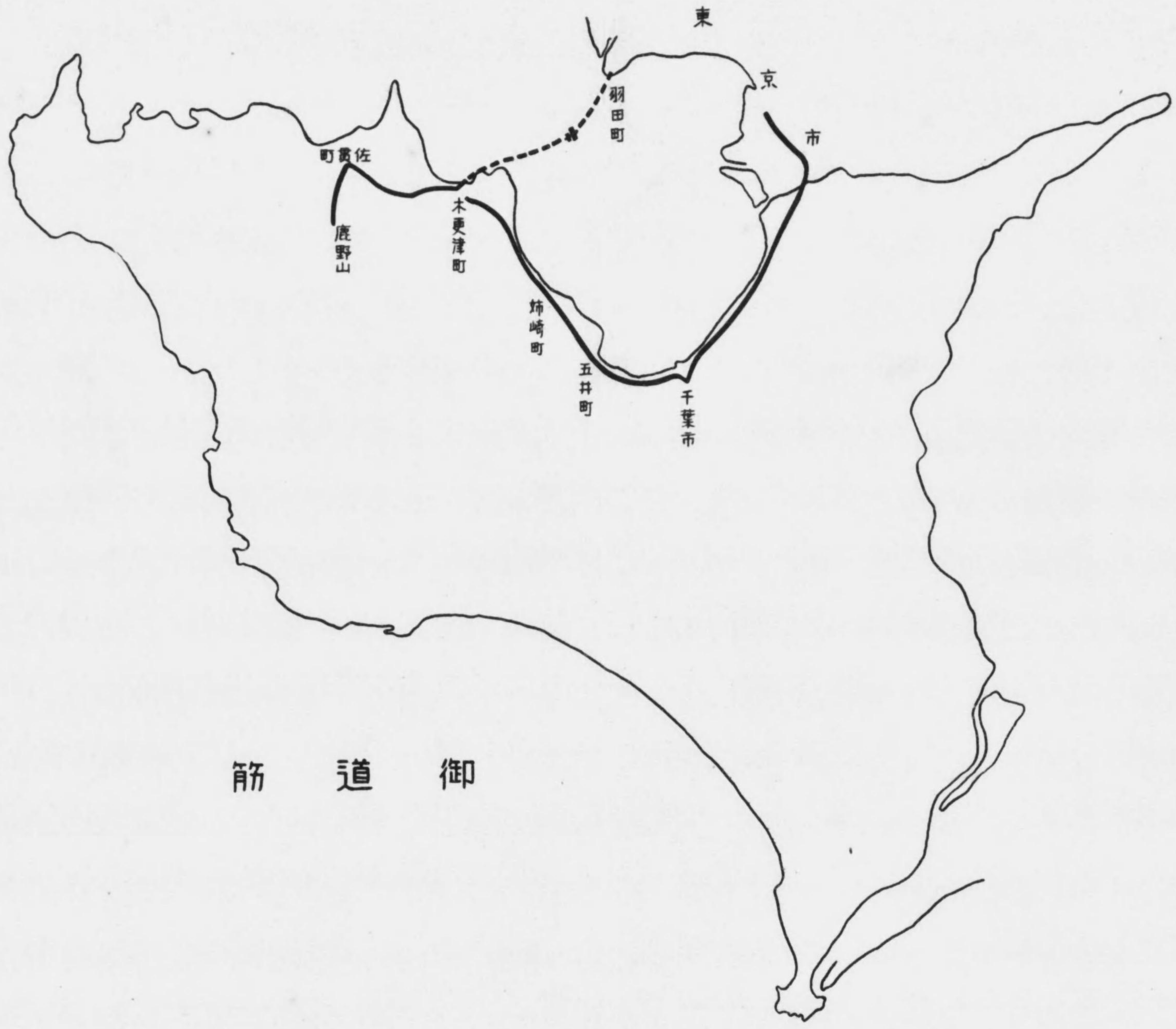
一、弟橘比賣命(帝國水難救濟會千葉支部獻上 香取正彦謹製)

景行天皇四十年日本武尊勅ヲ奉シテ東征ノ爲相模ヨリ舟行上總ニ渡リ奥地ニ入ラントスル際風浪大イニ起リ舟進マズ



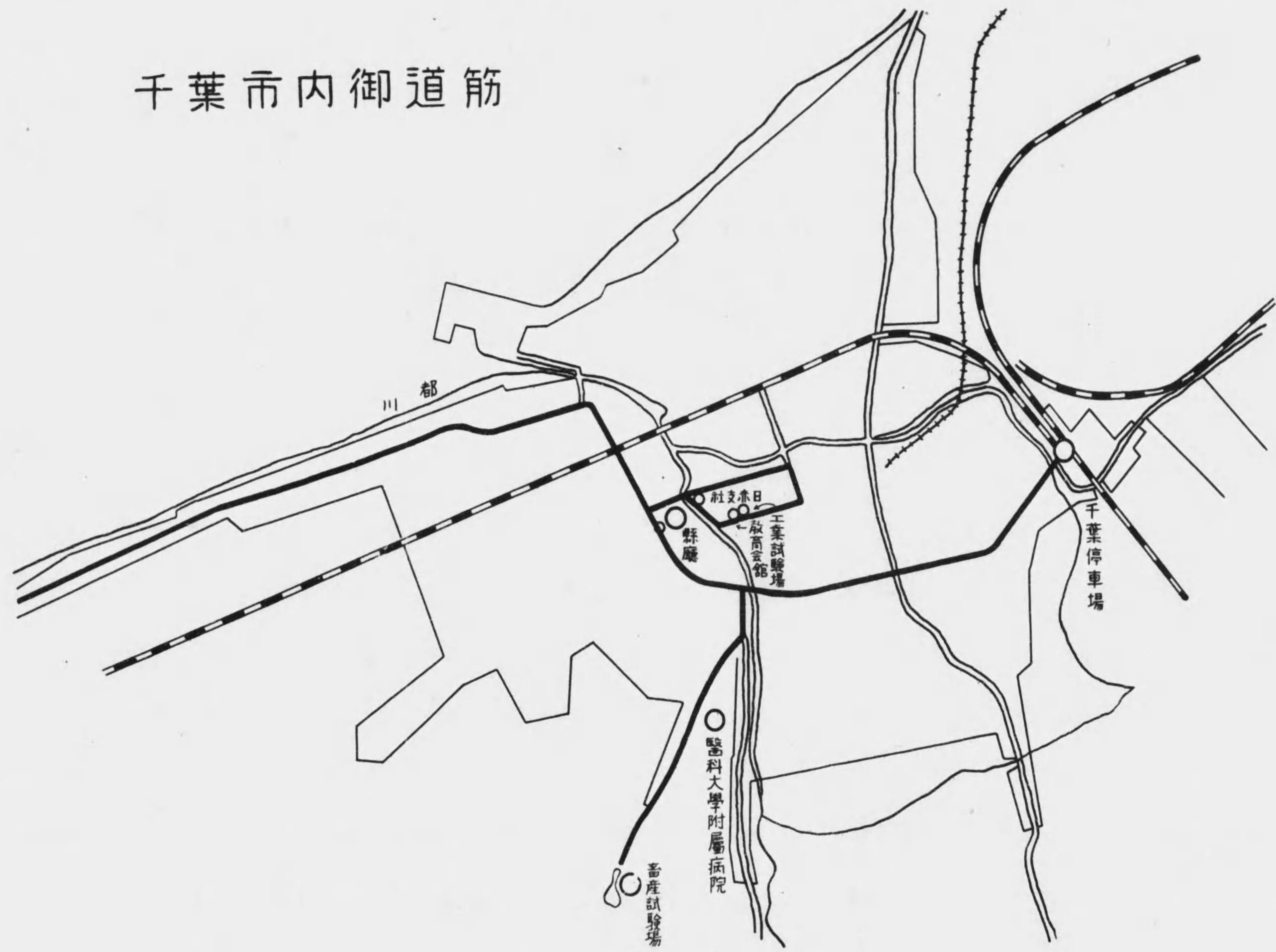
尊妃弟橋媛身ヲ艇シ海中ニ投シ尊ノ一行恙ナキヲ得タル尊其ノ忠死ヲ痛ミ媛ノ遺物ヲ納メテ本縣長生郡本納町ニ祭ル
縣社橋神社ノ後丘ニアルハ即チ御陵ナリ明治五年正月縣社ニ列セラル。
帝國水難救濟會千葉支部救助艇ハ同祭神ニ因ミ弟橋ト命名ス。

本人ハ東京市瀧野川區田端五〇番地香取秀眞ノ長男ニシテ大正九年四月東京美術學校鑄造科ヘ入學同十四年三月卒業爾來斯道研鑽ヲ怠ラズ大正十四年四月日本美術協會ニ推獎ヲ得タル他各種賞ヲ受ケタルコト數回、昭和四年ヨリ東京鑄金會美術協會第七部ヨリ鑄金審査員ヲ囑託セラレ以テ帝展特選三回ヲ受ケ無鑑査ニ推薦セラル、現在日本美術協會第七部委員及審査員東京鑄金會幹事及審査員國民美術協會々員昭和工藝會々員千葉縣美術家協會々員タリ。

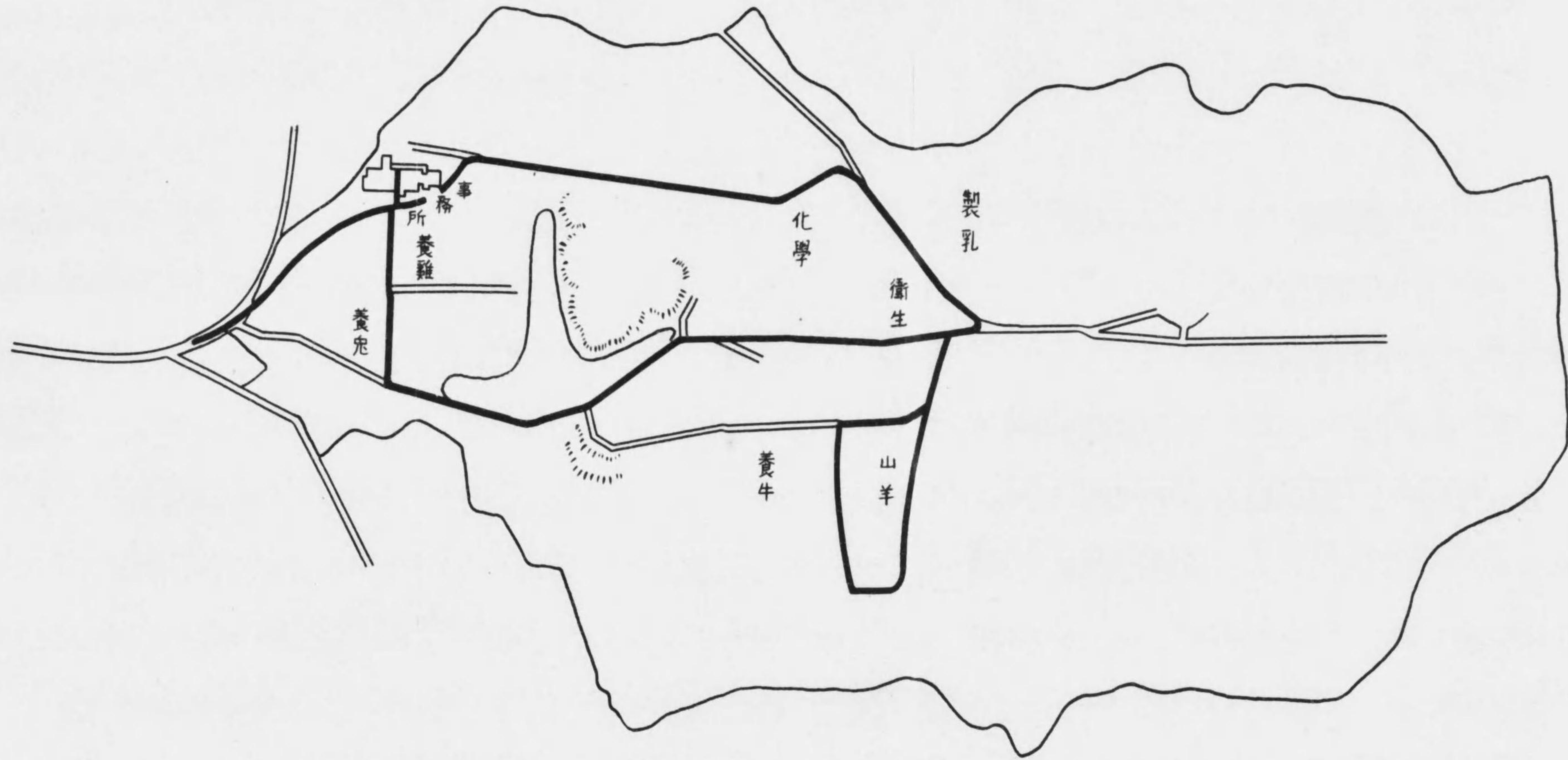


御道筋

千葉市内御道筋



畜產試驗場畧圖



木更津町御道筋

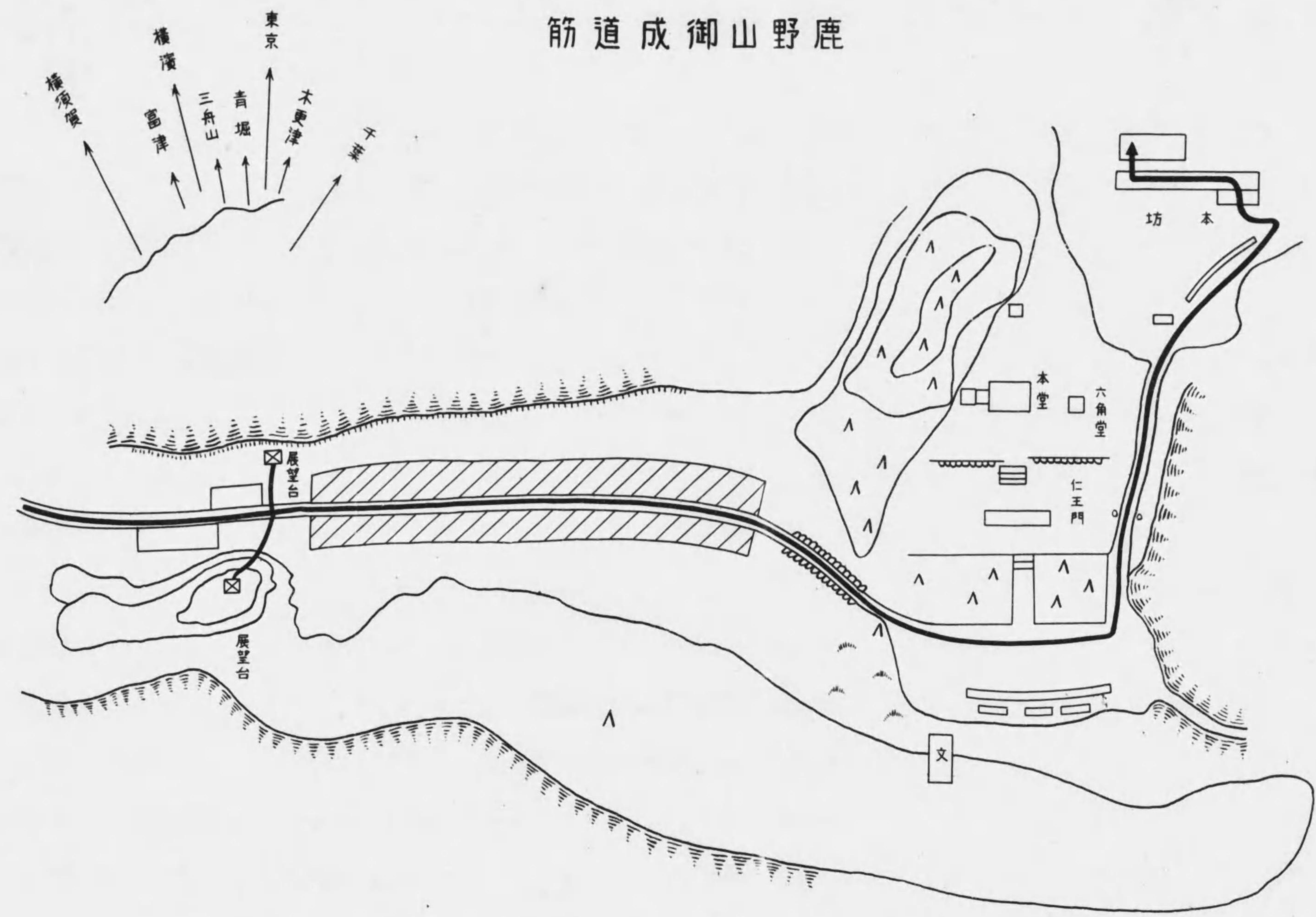
橋第口

木更津航空隊

佐久間館



鹿野山御成道筋



328
601

昭和十一年十一月十五日印刷
昭和十一年十一月二十日發行

(非賣品)

千葉縣廳

印刷者 東京市京橋區築地四ノ四 鈴木 茂

印刷所 東京市京橋區築地四ノ四 中屋三間印刷株式會社

體操成道筋



終

